

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成 25 年度 復興関係)

岩手県教育委員会



序

本県沿岸市町村に甚大な被害をもたらした東日本大震災津波の発災から4年が経過し、「復興道路」の一つとして位置づけられた三陸沿岸道路の建設、集団移転地の造成、被災した道路や農用地の復旧等、被災地住民の生活再建と向上のための種々の大規模開発事業が着実に進展しています。また、被災地では、個人住宅や企業店舗・施設の再建等、民間開発事業も進められています。

当教育委員会では、埋蔵文化財の保護と、復興事業の推進とを両立させるために、文化庁等の調整により、平成24年度から他道府県の専門職員の派遣をいただき、復興事業に伴う膨大な埋蔵文化財調査に対処するとともに、沿岸市町村教育委員会が実施する調査への支援等を行ってまいりました。

本書は、当教育委員会が平成25年度に復興交付金を活用して実施した諸調査の記録をまとめたものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護に役立てば幸いです。

最後になりましたが、調査及び報告書作成に御指導と御協力をいただきました関係機関・各位に厚く感謝申し上げます。

平成27年3月

岩手県教育委員会

教育長 高橋 嘉行

目 次

序

例言

岩手県沿岸市町村位置図、凡例	1
岩手県内復興道路、復興支援道路全体図	2
調査位置図	3

試掘調査

【三陸沿岸道路】

1 由ノ端Ⅱ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 2：洋野町）	20
2 上のマッカⅠ遺跡および隣接地（洋野町）	23
3 黒坂遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 1-工事用道路：洋野町）	26
4 外庭敷Ⅸ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 1：久慈市）	29
5 北野Ⅻ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 6：久慈市）	32
6 伏津館（野田村）	35
7 長途遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 3：普代村）	38
8 向新田Ⅲ遺跡（宮古市）	41
9 青ノ滝北Ⅰ・Ⅱ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 1・2：宮古市）	44
10 青ノ滝北Ⅲ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 8：宮古市）	47
11 乙部遺跡（宮古市）	50
12 駿邊遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 1-構造変更箇所 2：宮古市）	54
13 高根遺跡（宮古市）	56
14 磯鷲石崎遺跡（宮古市）	59
15 沼里遺跡隣接地（宮古市）	64

【東北横断自動車道】

16 早野原Ⅲ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 3：遠野市）	68
17 由Ⅱ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 21：遠野市）	72
18 栲洞Ⅲ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 29：遠野市）	75
19 新里愛宕遺跡（遠野市）	79

【宮古盛岡横断道路】

20 中村遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり 8：盛岡市）	83
------------------------------	----

【市町村支援等】

21	赤前Ⅲ遺跡（宮古市）	85
22	碓川自沢田Ⅰ遺跡（山田町）	90
23	八幡館（高田城）および隣接地（陸前高田市）	95
24	菱岩下Ⅱ遺跡（新規発見遺跡・旧可能性あり4；陸前高田市）	103
平成25年度 派遣専門職員の調査風景		107

調査一覧

1	分布調査一覧	110
2	試掘調査一覧	112
3	市町村支援一覧	114
4	本発掘調査一覧	114
5	工事立会一覧	114

例 言

- 1 本書は岩手県教育委員会が平成25年度に実施した県内遺跡発掘調査事業に係る調査成果の概要報告である。なお、本事業は復興庁復興交付金の交付を受けて実施したものである。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター及び関係市町村教育委員会の協力を得て実施した。野外調査・室内整理および報告書作成・編集は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課埋蔵文化財担当(復興事業担当)が行った。
- 3 遺跡位置図は国土地理院発行の1/50,000地形図(数値地図画像)を使用し、一部加筆・変更したものである。
- 4 調査区位置図等は各事業者から提供された工事図面・地形図等を原図として作成した。
- 5 本書では試掘調査により本調査対応となったおもな箇所(遺跡)の成果概要、および当教育委員会が実施した市町村支援についても記載した。
- 6 調査による遺物実測図は遺跡毎に掲載した。
- 7 遺構・遺物実測図の掲載はページ毎に縮尺を記載し、表現は凡例のとおりである。
- 8 遺構・遺物写真は、紙幅の関係からおもな遺構・遺物を選択して遺跡ごとに掲載した。
- 9 地形図等については調査対象地が重複していることから、明確に表現するためカラーで掲載した。
- 10 平成25年度は、復興事業に伴う埋蔵文化財調査の著しい増加が予想されたことから、文化庁による調整の下、当教育委員会では8道府県から各1名、計8名の専門職員の派遣を受けた。平成25年度の埋蔵文化財担当は計18名(兼務含む)で、調査体制は以下のとおりである。

<埋蔵文化財担当> 文化財専門員 菅常久(全体総括)

<予算・経理担当> 主任 藤村フサ子

<復興事業担当> 文化財専門員 半澤武彦(復興事業総括)・鳥居達人・相原伸裕・佐々木務・佐藤郁哉(柳之御所担当兼務)

【他道府県教育委員会からの派遣専門職員】 上席文化財専門員 安井健一(千葉県) 文化財専門員 宗像公司(北海道)・斉藤慶史(青森県)・宇田川浩一(秋田県)・武田寛生(静岡県)・北原治(滋賀県)・横田明(大阪府)・平美典(鹿児島県)

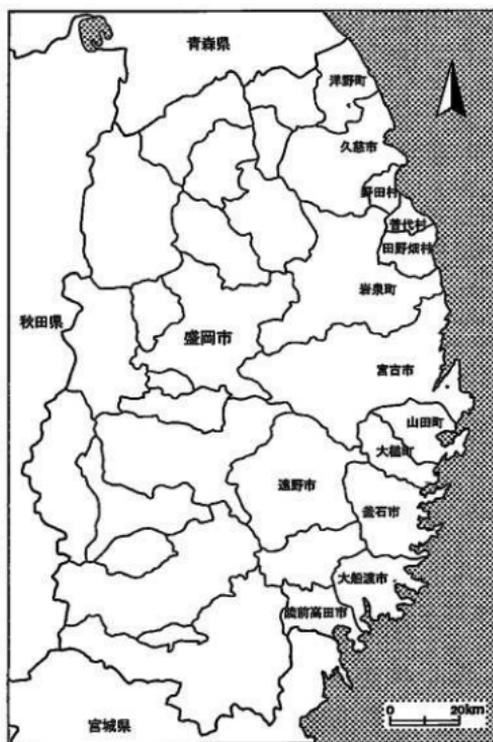
※ このほかに、平成25年4月8日～26日の約1か月間、青森県教育委員会から5名(永嶋豊・浅田智晴・萬城和穂・荒谷伸郎・加藤隆則各氏)による復興事業にともなう調査支援をいただいた。

<通常事業担当> 文化財専門員 千葉正彦(通常事業総括)・晴山雅光・栗谷昭博

- 11 本書は復興事業関係の調査を収録し、調査はおもに復興事業担当が実施した。なお、通常事業関係の調査については、第142集として別途刊行した。

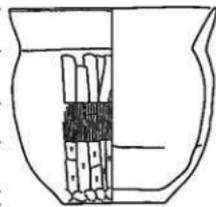
- 12 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が保管している。

岩手県沿岸市町村位置図



凡例

ヨコナデ
ナデ
ハケメ
ケズリ
オサエ



輪積



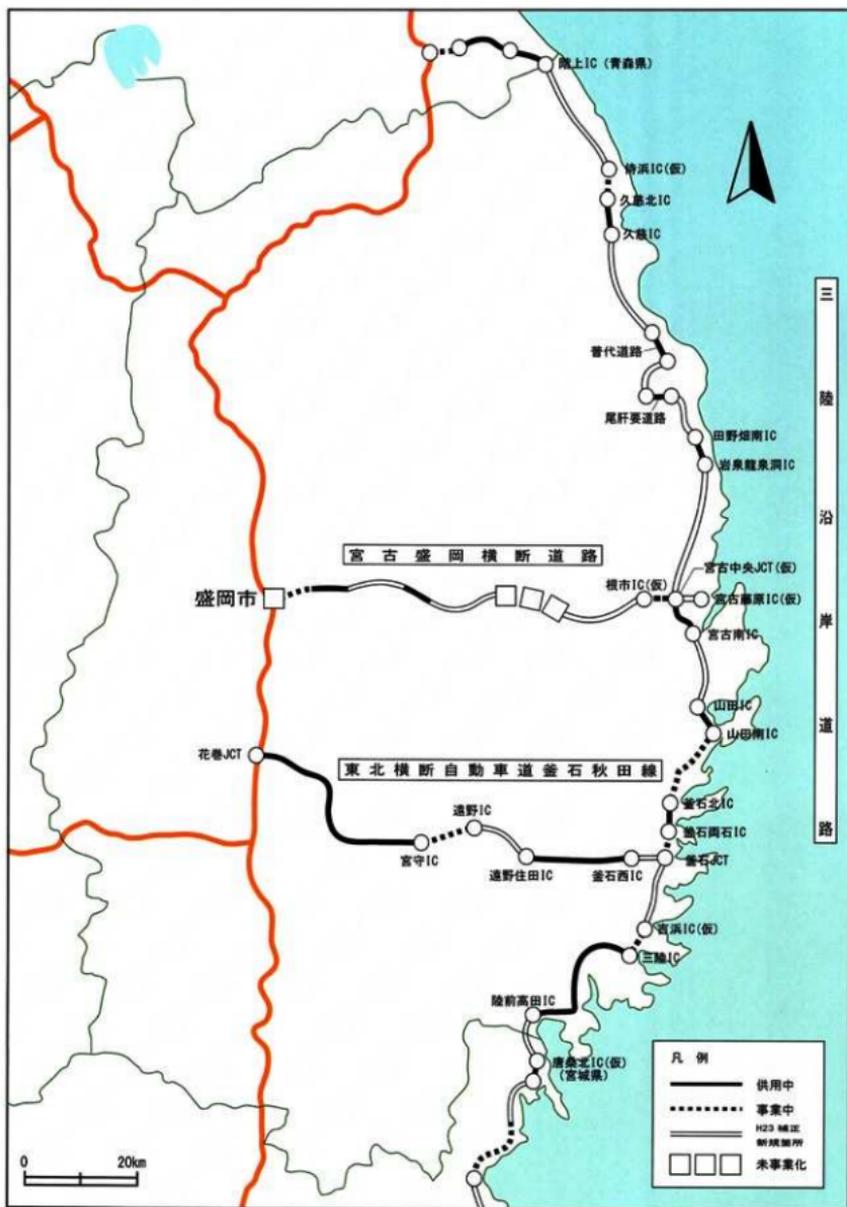
土師器 ミガキ



土師器 黒色処理

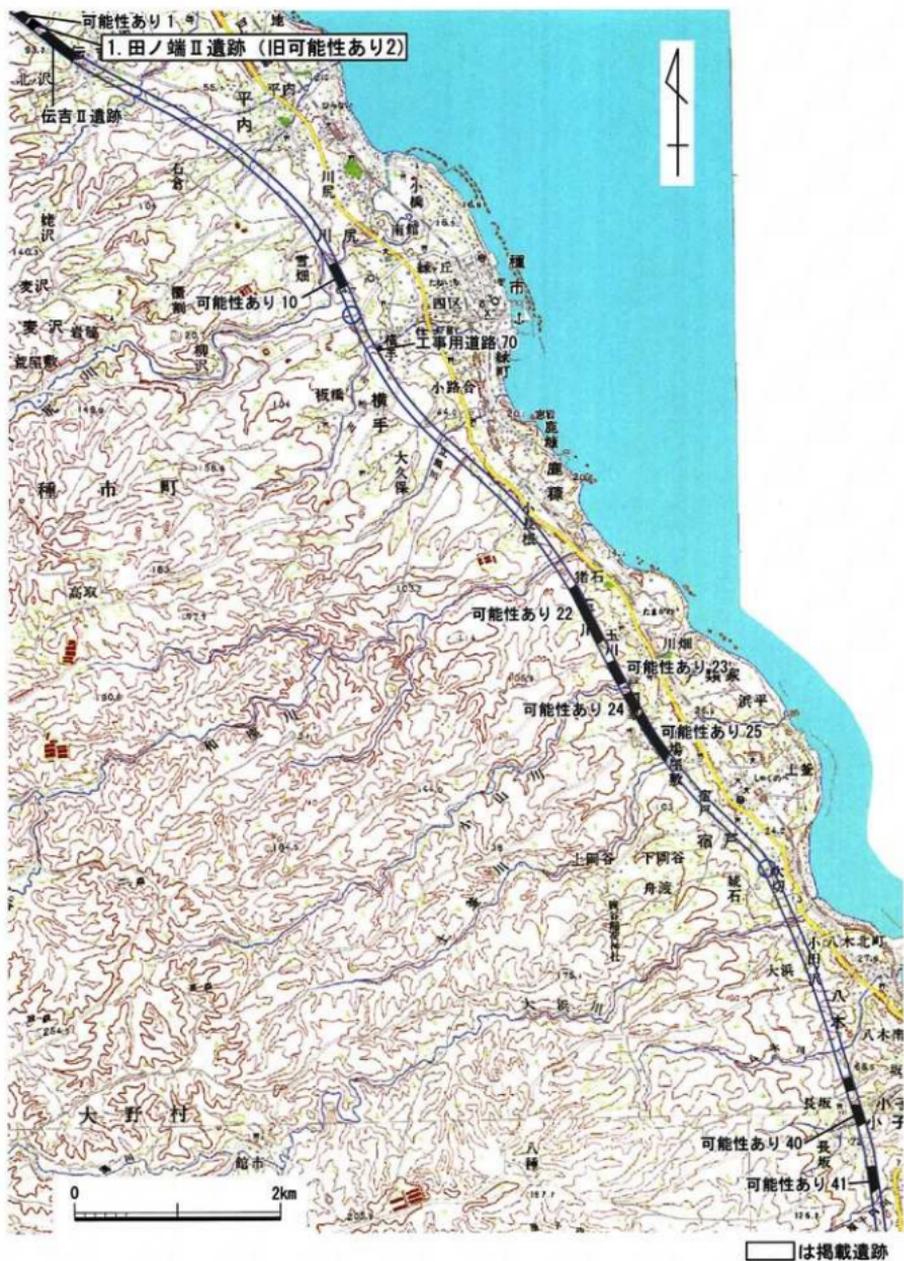


石器 タタキ

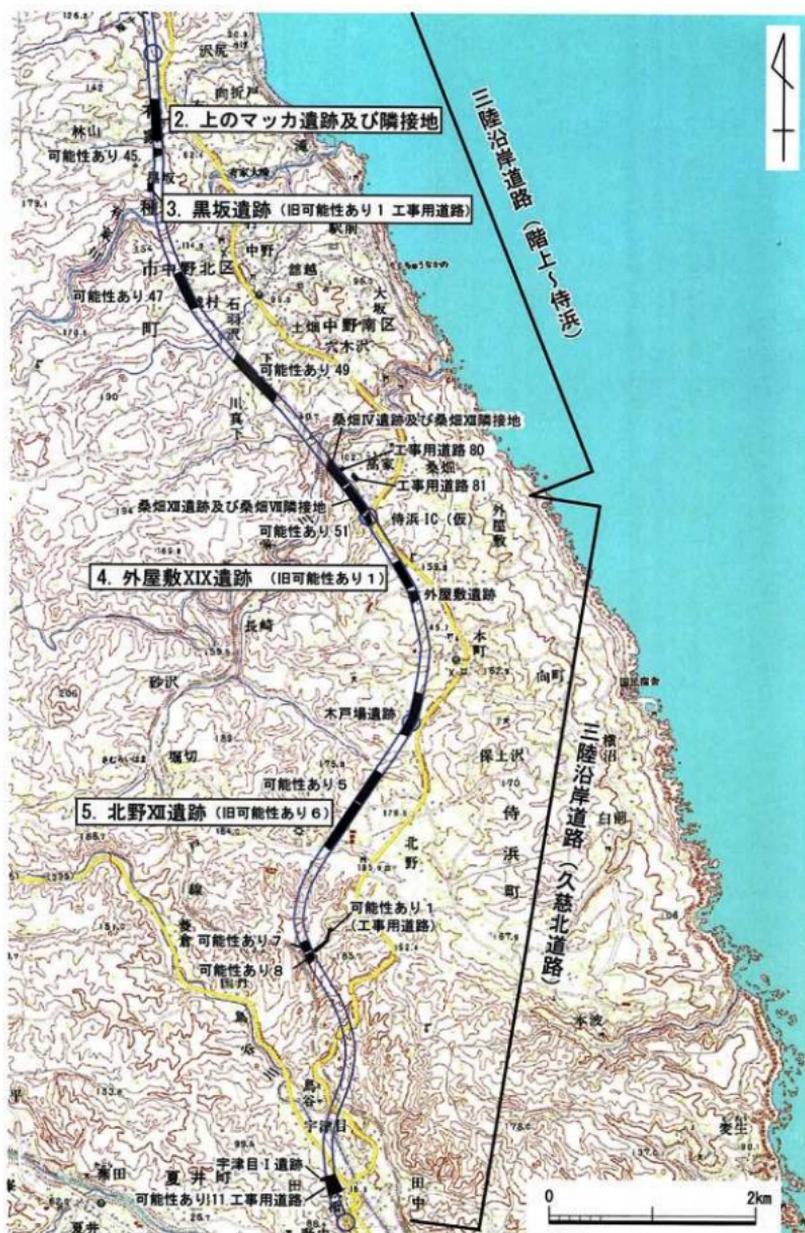


H25年度末現在、国文省三陸国道事務所HPより引用、一部加筆

岩手県内 復興道路・復興支援道路全体図（国土交通省関係）



三陸沿岸道路 (青森県階上～俣浜) 調査位置図

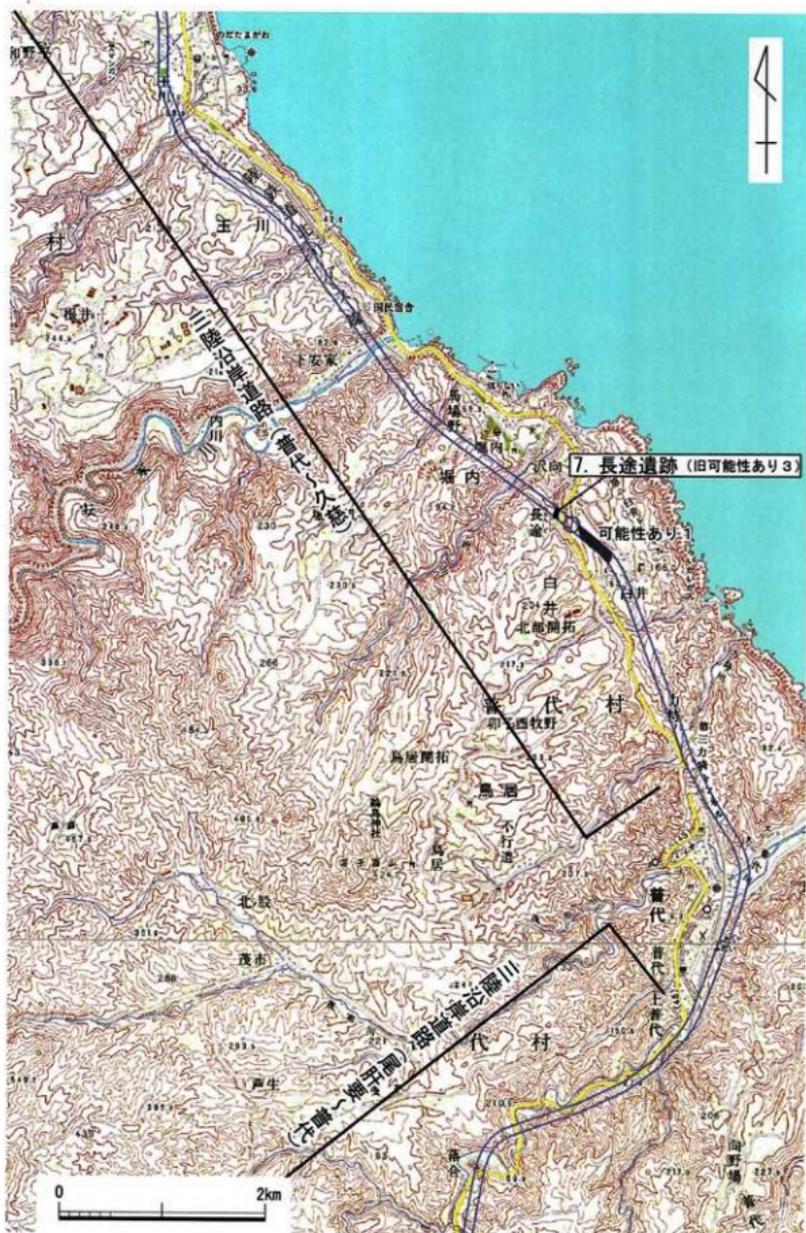


三陸沿岸道路(洋野〜待浜)調査位置図

□は掲載遺跡

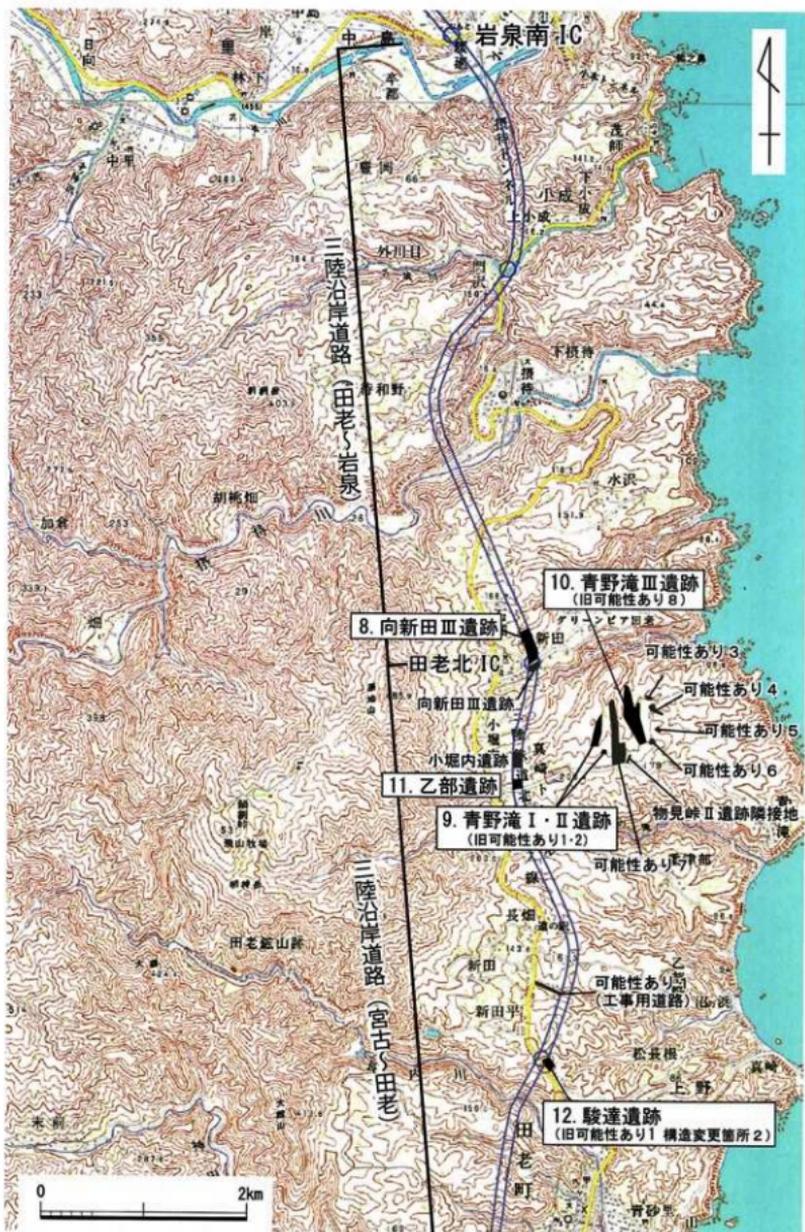


三陸沿岸道路(久慈~野田)調査位置図

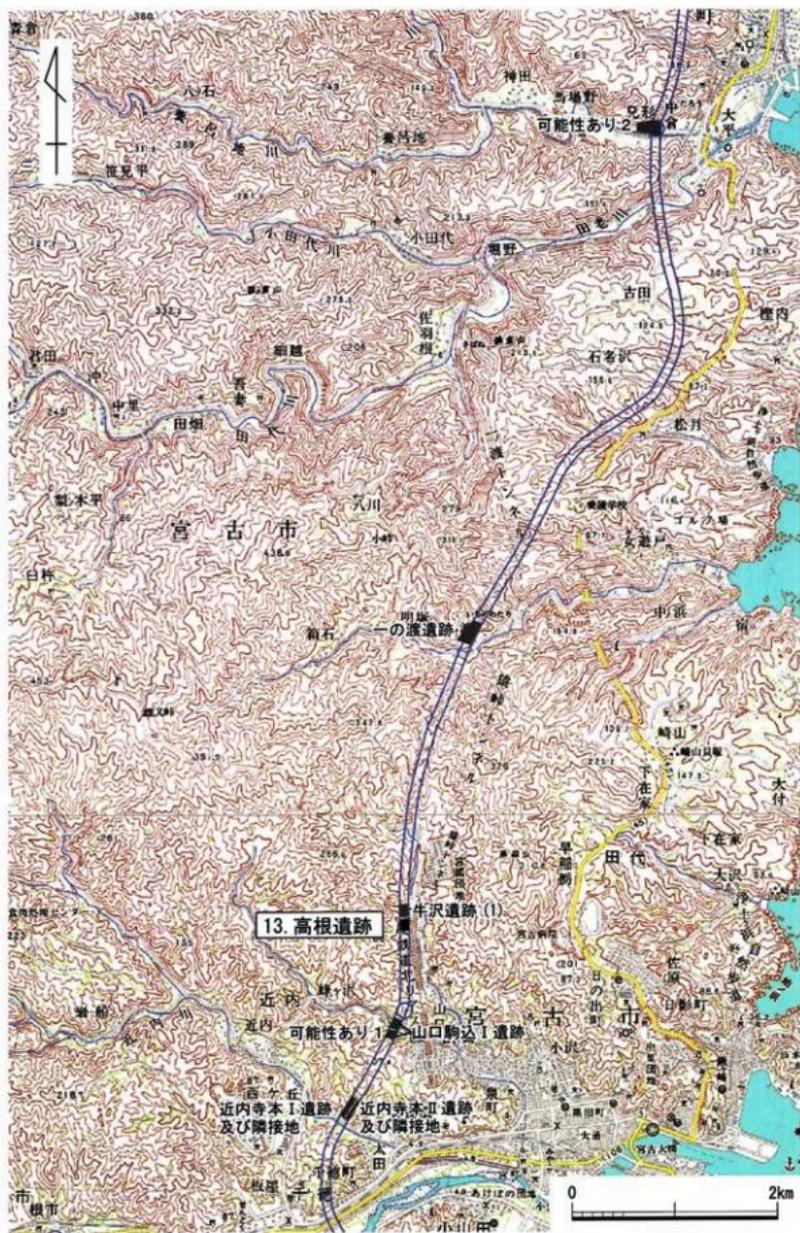


三陸沿岸道路（野田～普代）調査位置図

□ は掲載遺跡



三陸沿岸道路(岩泉~宮古田老)調査位置図



三陸沿岸道路（宮古老～宮古）調査位置図

□ は掲載遺跡



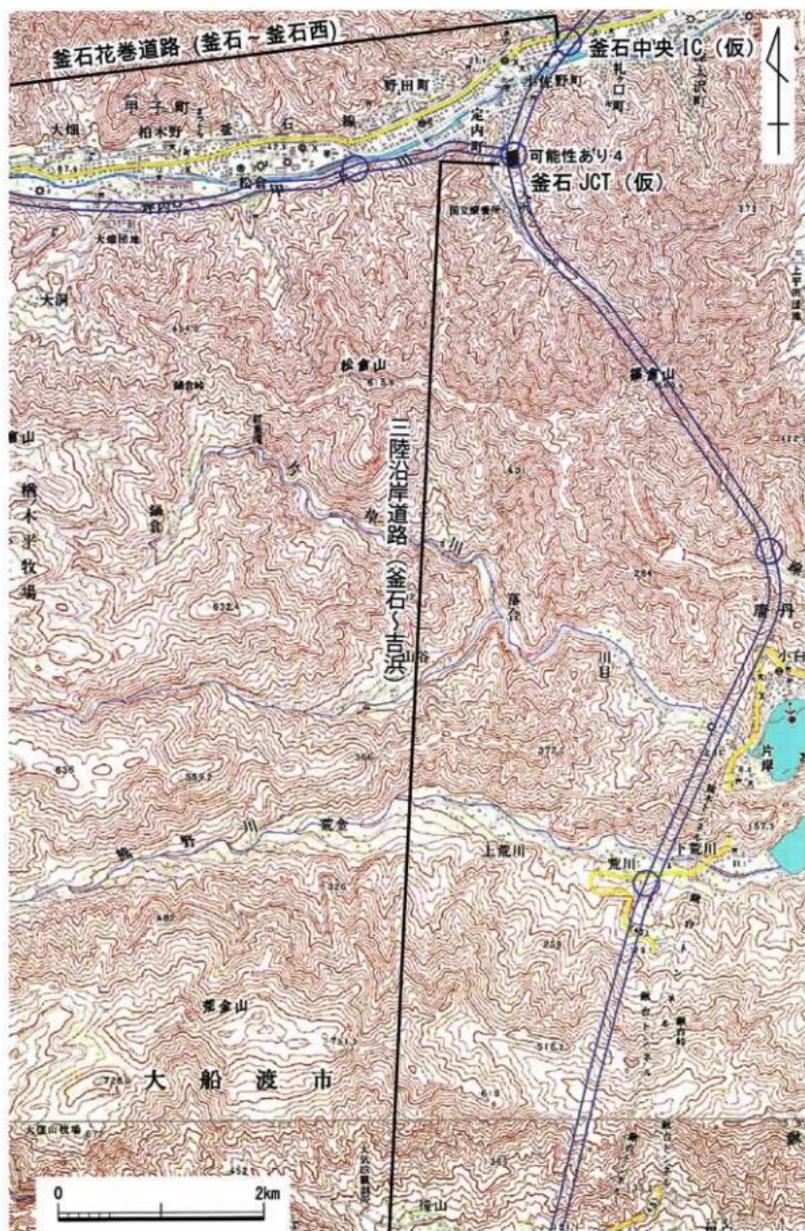
三陸沿岸道路（宮古～山田）・宮古盛岡横断道路（宮古西道路）および宮古市支援 調査位置図



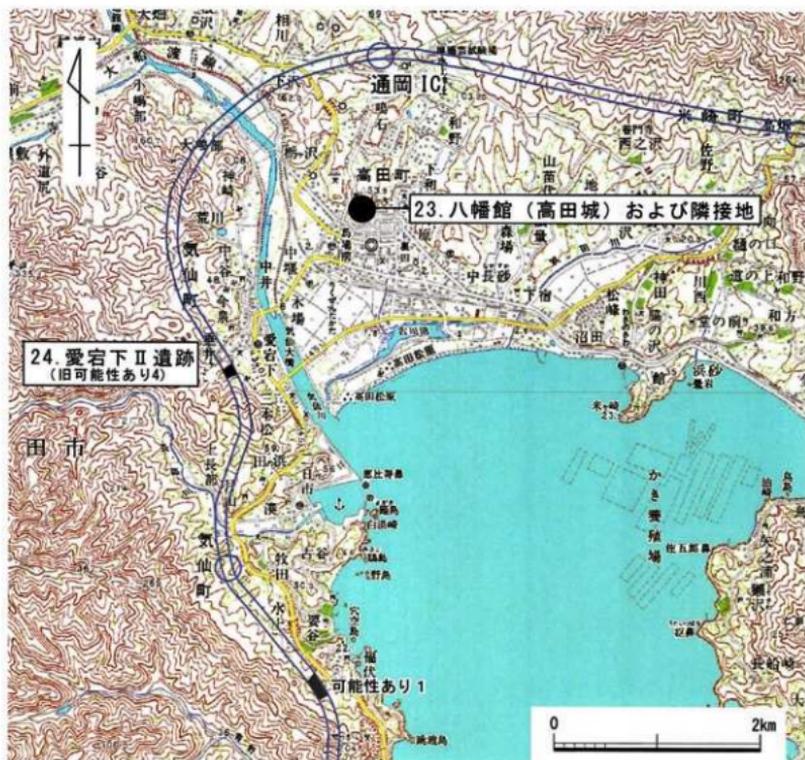
22. 浜川目沢田 I 遺跡
(山田町支援)

□ は掲載遺跡

三陸沿岸道路(宮古~山田)および山田町支援 調査位置図

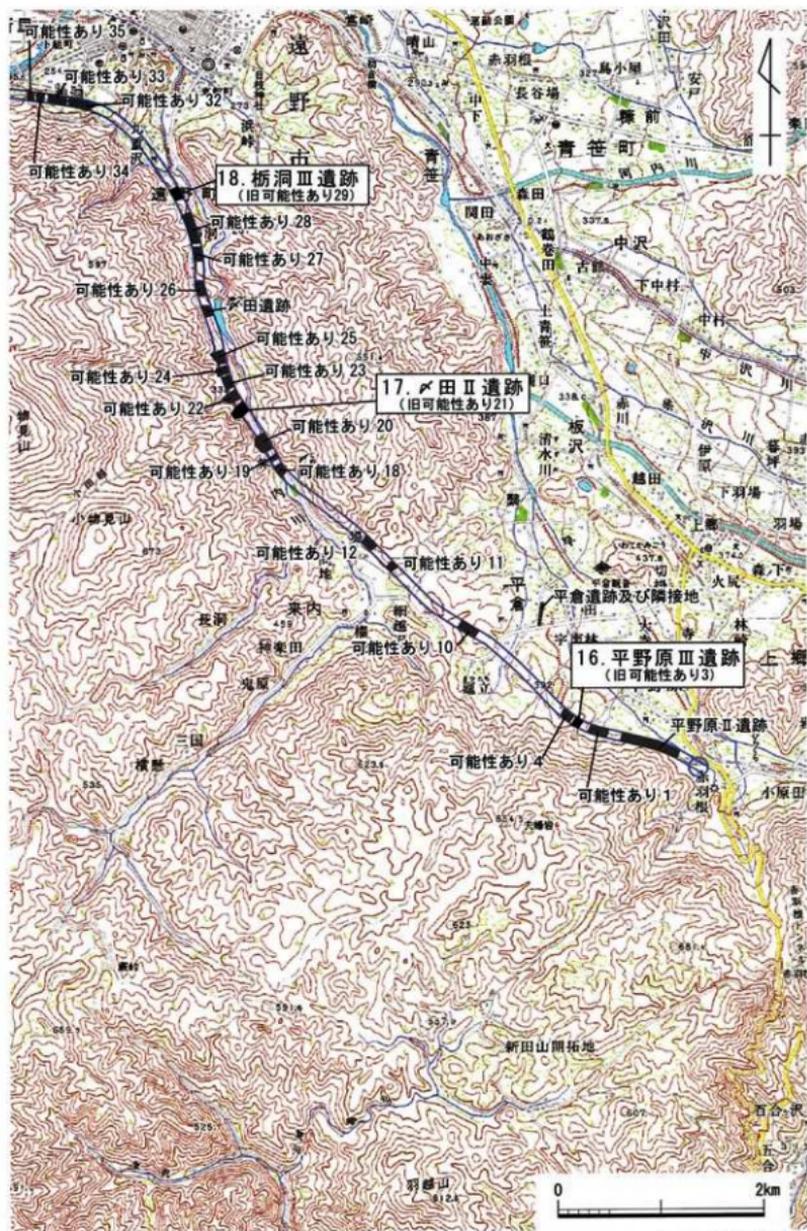


三陸沿岸道路 (釜石～吉浜)・東北横断自動車道 釜石秋田線 (釜石～釜石西) 調査位置図

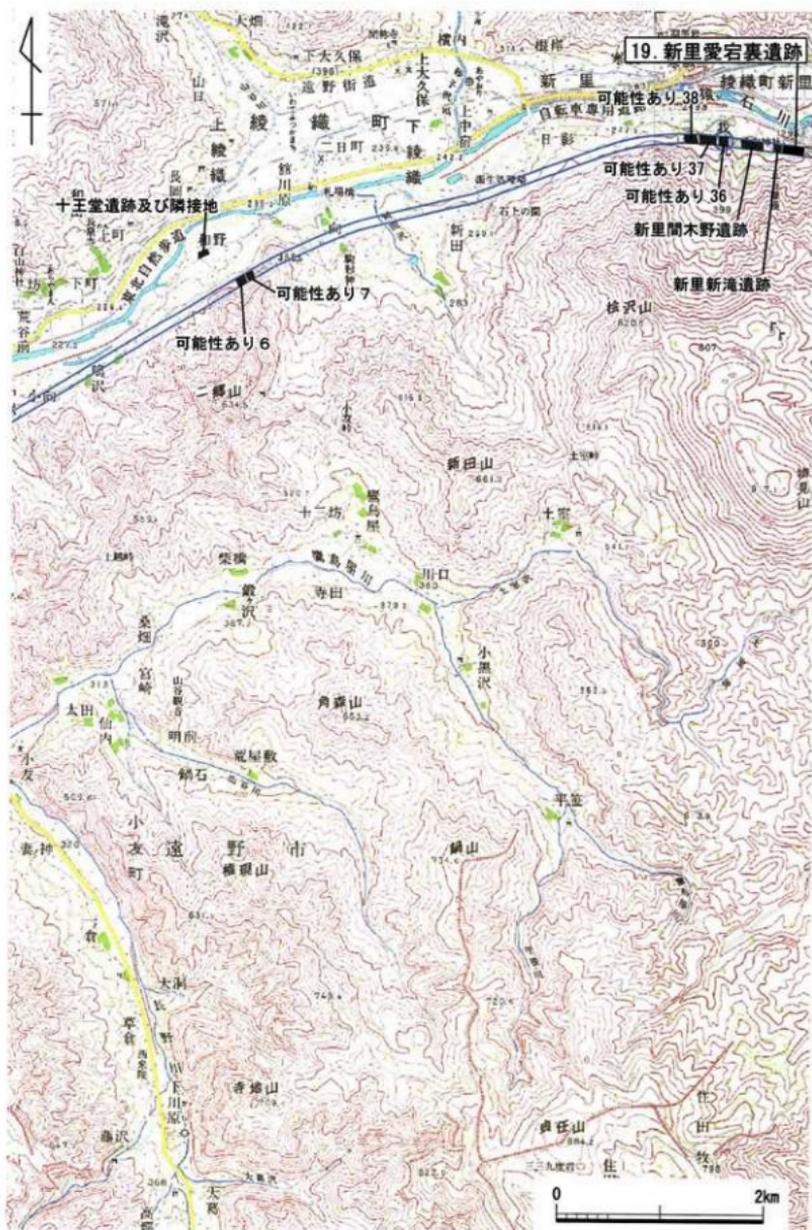


□ は掲載遺跡

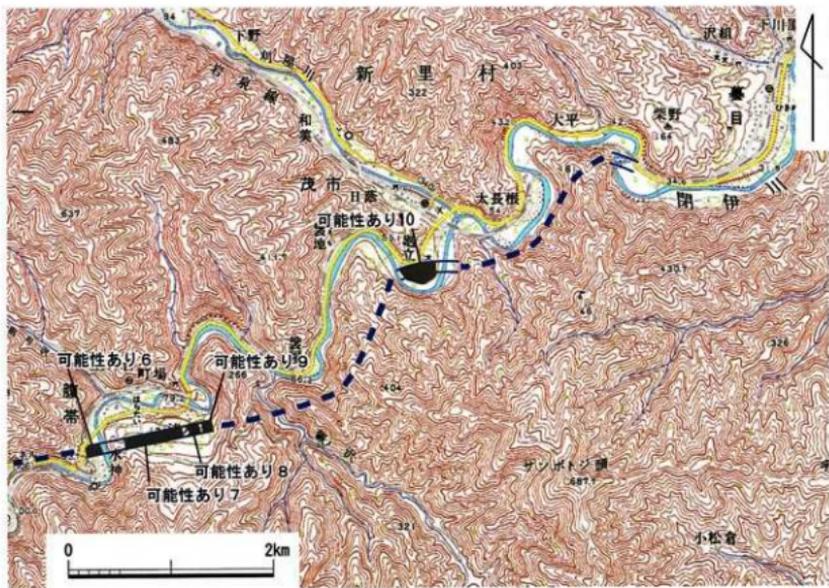
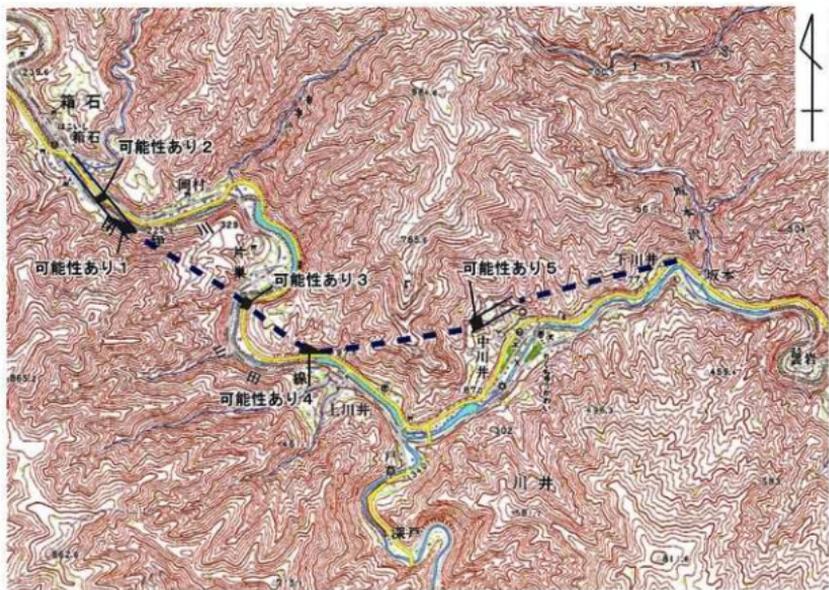
三陸沿岸道路（宮城県唐桑～陸前高田）および陸前高田市支援 調査位置図



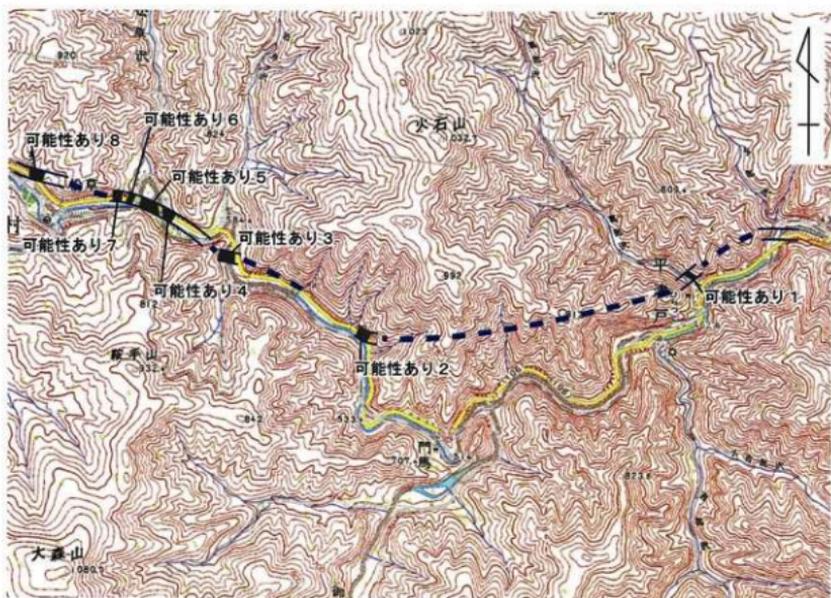
東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～住田）調査位置図



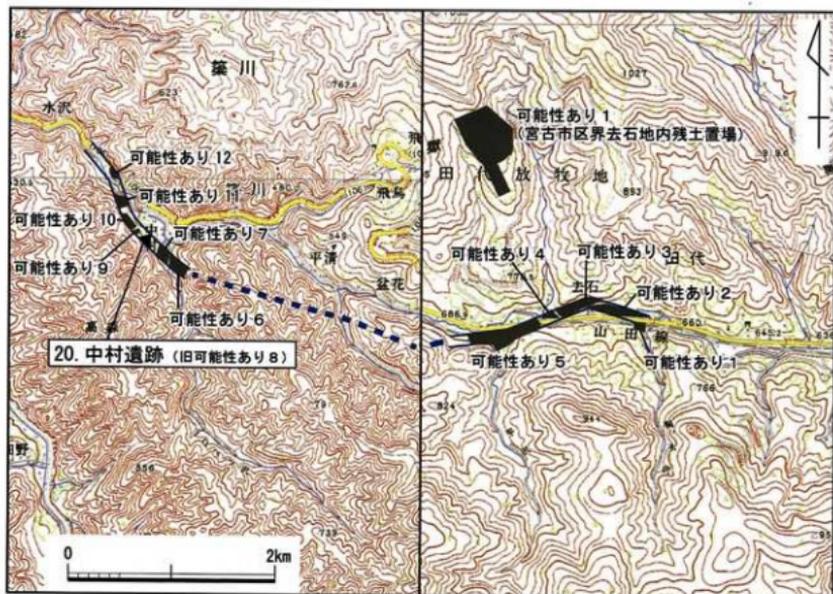
東北横断自動車道釜石秋田線（宮守～遠野）調査位置図



富古盛岡横断道路（宮古西～箱石：平津戸・岩井～築川）調査位置図



宮古盛岡横断道路（平津戸・岩井～松草）調査位置図



□は掲載遺跡

宮古盛岡横断道路（区界～築川）調査位置図

試掘調査・市町村支援

1 三陸沿岸道路（青森県階上～久慈市侍浜）

田ノ端Ⅱ遺跡（IF37-2343：新規遺跡）

【所在地】 九戸郡洋野町種市第44地割地内

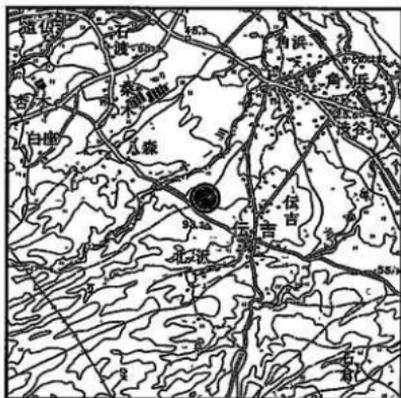
【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】平成25年5月8日（水）～9日（木）

【調査結果】調査地は洋野町立角浜中学校から
南西へ約0.95km、廿一川南岸の丘陵上に位置する。

丘陵平坦面と南北端の急斜面からなり、現況は
山林である。調査地から南東へ約200mの地点に
周知の遺物散布地である伝吉Ⅱ遺跡（IF37-2392）
がある。



田ノ端Ⅱ遺跡位置図

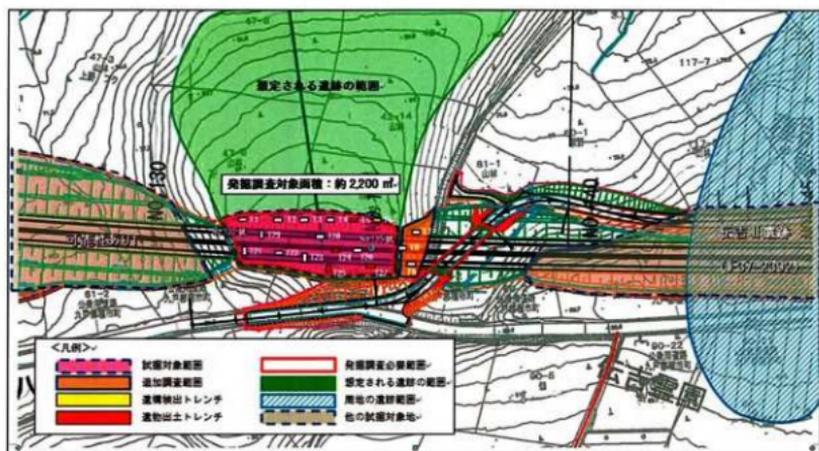
調査は丘陵平坦面を中心に18箇所のトレンチを設定し、小型重機を用いて行った。

基本層序は以下のとおりである。

- | | | |
|------|------|---------------------|
| I層 | 表土 | 層厚 15～30cm |
| II層 | 黒色土 | 層厚 0～20cm（縄文遺物出土） |
| III層 | 黒褐色土 | 層厚 0～20cm（縄文遺物出土） |
| IV層 | 暗褐色土 | 層厚 0～20cm（火山灰軽石粒含む） |
| V層 | 中礫軽石 | 層厚 0～15cm（十和田起源火山灰） |
| VI層 | 黄褐色土 | 層厚不明（火山灰軽石含む、地山） |

調査の結果、概ね基本層序のような堆積状況が確認された。T5・24・25・27で縄文土器及びフレックが出土したほか、T6で陥し穴が検出された。遺構がさらに周辺に広がる可能性が想定されたため、三陸国道事務所及び地権者の同意の下、隣接地（T7～9）の追加調査を行ったが、斜面部には遺構が広がらないことが判明した。

調査地は、安定した平場のうえ、東側へは緩斜面になっており、丘陵下には沢も存在することから、さらなる遺構・遺物が存在する可能性が高いと判断される。



田ノ端Ⅱ遺跡 トレンチ位置図



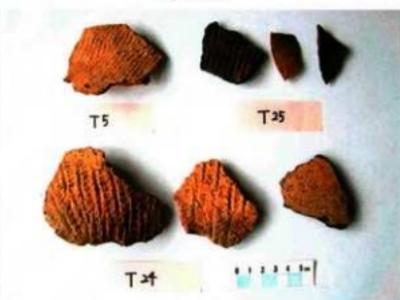
調査地風景



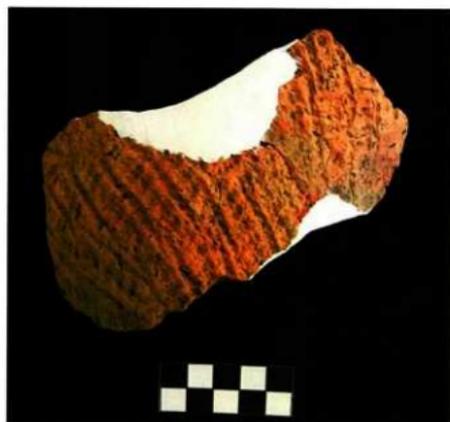
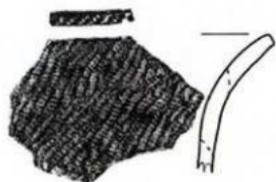
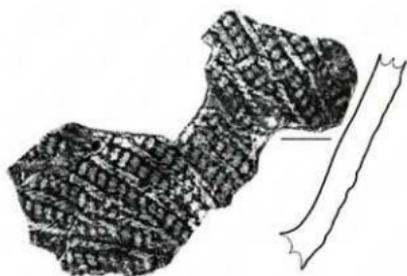
T24 断面



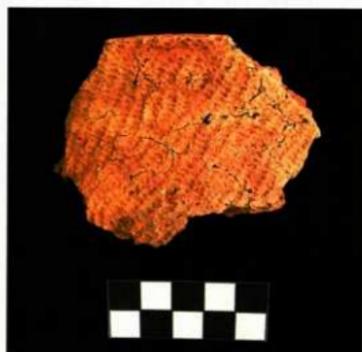
T6 陥し穴検出状況



出土遺物



出土遺物 1 (T24)



出土遺物 2 (T5)

2 三陸沿岸道路（陸上～侍浜）

上のマッカ遺跡および隣接地（IF89-0340）

【所在地】 九戸郡洋野町有家
第5地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年6月11日（火）
～12日（水）・18日（火）

【調査結果】 調査地はJR八戸線有家駅から南西へ約1.3km、原子内川と有家川にはさまれた丘陵上に位置する。

おもに丘陵緩斜面、及び沢を伴う扇状地状の地形で構成され、現況は畑地及び山林である。



上のマッカ遺跡および隣接地 位置図

調査は重機を用い、62箇所にトレンチを設定して行った。

基本層序は以下のとおりである。

< T 1～45 >

- I層 表土 層厚 15～30cm
- II層 黒褐色土 層厚 10～25cm（縄文遺物出土）
- III層 暗褐色土 層厚 15～30cm
- IV層 黒褐色土 層厚 15～25cm（中微軽石粒含む）
- V層 暗褐色土 層厚 15～25cm（中微軽石粒含む）
- VI層 褐色土 層厚不明（風化花崗岩含む、地山）

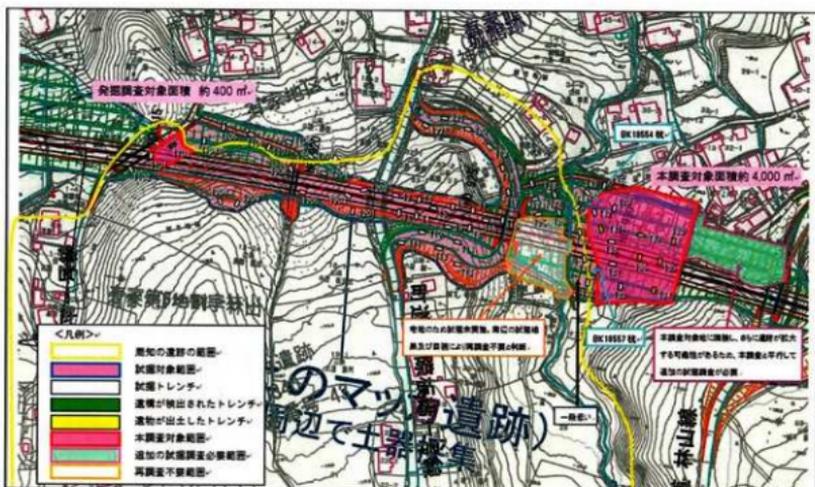
< T 101～108・201～209 >

- I層 表土 層厚 20～40cm
- II層 黒色土 層厚 0～20cm
- III層 黒褐色土 層厚 0～30cm
- IV層 暗褐色土 層厚 0～40cm
- V層 黄褐色土 層厚不明（地山）

調査の結果、本線センター杭 No. 929～932 周辺で、縄文土器や石器が多く出土した。畑地部分では、耕作により遺物包含層が一部削平されている可能性があるものの、緩斜面で沢に近く、遺物の破片も大きいことなどから、遺構が存在する可能性が高く、周辺の遺跡の範囲が拡大するものと判断される。

また、センター杭 No. 915～916 周辺の T 103 からは、V層上面から陥し穴が1基検出された。検出時のサイズは幅 0.2m×長さ 1.3m以上×深さ 0.8mである。丘陵裾部に位置するが、ここから東側へ向かって地形が尾根状に伸びており、そちらへ陥し穴が点在するものと想定される。

その他では、T 9～11 周辺で遺物の出土が確認されたが、包含層は削平されている状態であった。また T 23 でも遺物の出土が確認されたが、土壌の堆積状況などから流れ込みと判断した。



上のマッカ遺跡および隣接地 トレンチ位置図



調査風景

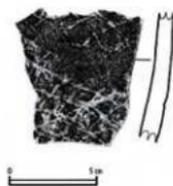


T 35 遺物出土状況



T 3 陥し穴検出状況および各トレンチ出土遺物

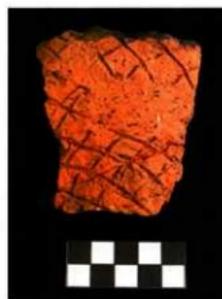




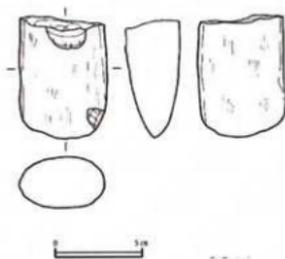
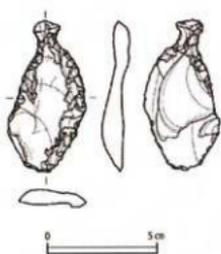
出土遺物 1 (T40)



出土遺物 2 (T35)



出土遺物 3 (T40)



出土遺物 4 (T40)



出土遺物 5 (T29)

3 三陸沿岸道路（陸上～待浜）

黒坂遺跡（IF89-1322：新規遺跡）

【所在地】 九戸郡洋野町有家
第9地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成26年3月11日（火）
～12日（水）

【調査結果】 調査地はJR八戸線有家駅から南西へ約1.6km、有家川左岸の丘陵頂部付近にある緩斜面地に位置する。標高は126～133mであり、現況は山林である。北側約0.7kmには、縄文時代中・後期の集落跡とみられる上のマッカ遺跡（IF89-0340）が位置する。

基本層序は以下のとおりである。

- I層 表土 層厚 15～25 cm
- II層 黒色土 層厚 5～20 cm（ローム粒を含む、攪拌された堆積土）
- III層 黒褐色土 層厚 14～20 cm（軽石粒少量含む、一部で欠落、本層下部で遺構検出）
- IV層 暗褐色土 層厚 5～10 cm（軽石粒含む、漸位層）
- V層 褐色土 層厚 20cm以上

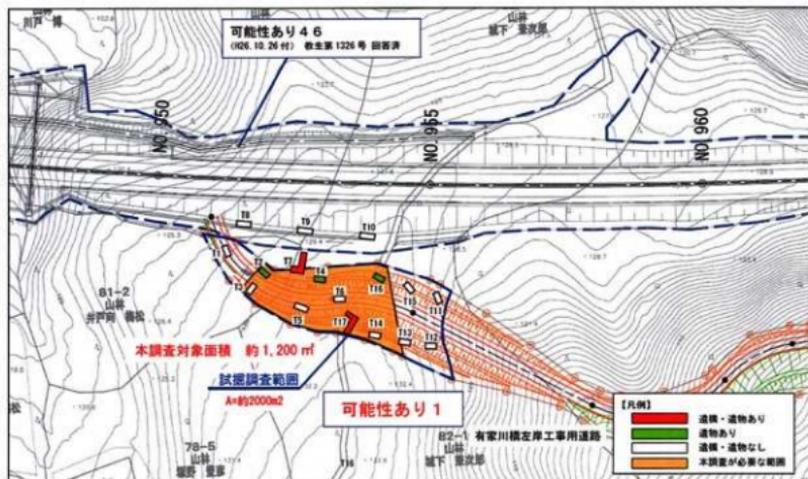
調査の結果、全域の表土直下には径2～5mmのローム粒を含む黒色土層（II層）がみられ、層相や厚さにばらつきが大きいことから、現代の植林に伴う造成で攪拌された土層と考えられる。一方、II層の下位には、軽石粒を少量含む黒褐色土層（III層）が堆積しており、さらにその下位に漸移層である暗褐色土層（IV層）を介して褐色土層（V層）がみられる。III層以下については、層相から植林の影響は及んでおらず、旧地形が保たれている部分と考えられた。

T2・4・16では、II層中より、縄文時代中期の土器片が少量出土した。また、T7・17ではIII層下部で、縄文時代中期前葉（円筒上層b・c式期）の竪穴住居跡が各1棟検出されている。特にT7では、大コンテナ1箱分に相当する多量の土器片が出土している。

なお、今回の調査地東側に隣接する可能性あり46（H24.10.26付教生第1326号にて回答済）では、トレンチ1箇所でも黒色土層中から流れ込みと判断される縄文土器片が出土しているが、これを除いて遺構・遺物等は確認されていない。今回、T7で竪穴住居跡が検出されたことを受け、事業者の了解のもと、東側の本線区域内にも3箇所のトレンチ（T8・9・10）を追加設定し精査を行ったが、いずれのトレンチからも遺構・遺物ともに確認されず、本線側に遺跡は広がらないものと思われる。



黒坂遺跡 位置図



黑板遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



調査風景



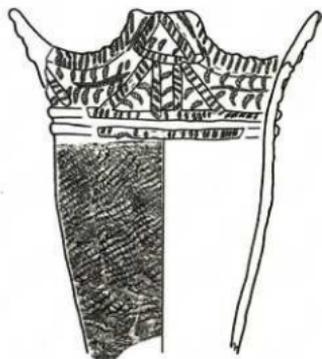
T17 竪穴住居跡 (壁の立ち上がり)



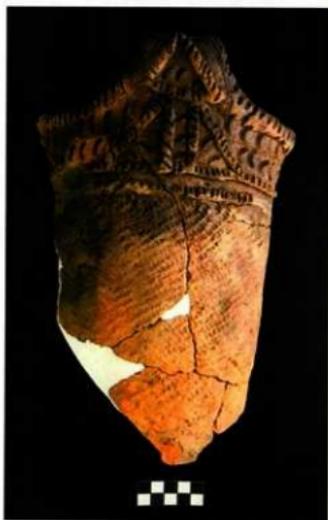
T7から出土した大量の遺物



出土遺物 1 (T7)



出土遺物 2 (T7)



4 三陸沿岸道路（久慈～侍浜）

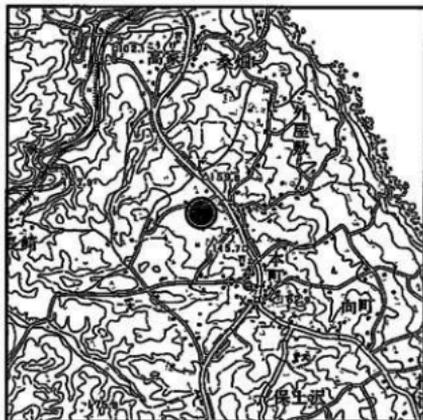
外屋敷XIX 遺跡 (1690-1195 : 新規遺跡)

【所在地】 久慈市侍浜町外屋敷地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 4 月 15 日 (月)

【調査結果】 調査地は、高家川の支流沿いの台地上に位置し、久慈市役所の北方約 9 km にあたる。南北の谷に面する斜面と台地上の平坦部からなり、現況は山林であるが一部畑地によって造成されている。なお、昨年度行った隣接地の試掘では、縄文時代の陥し穴と考えられる遺構が 1 基検出され、そこを中心とした 3,500 m² を本調査範囲としている。



外屋敷XIX 遺跡 位置図

対象地のうち、畑地以外の全体にトレンチを 25 箇所 (T 1～15、51～60) 設定し調査を行った。その結果、層厚に差異はあるものの、ほぼ基本層序どおりの堆積状況を示していた。

基本層序は以下のとおりである。

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| I 層 表土 | 層厚 10～20 cm (木根多量に含む) |
| II 層 黒褐色土 | 層厚 20～40 cm (黒色腐植土主体、しまり強) |
| III 層 褐色土 | 層厚 20～35 cm (黒色土とローム質土が斑状に混合、しまり強) |
| IV 層 黄褐色土 | 層厚 15 cm～ (ソフト化したローム質土、粘性やや強) |

地山面まで掘り下げて確認を行った結果、対象地中央部の標高がやや高い地点に設定したトレンチで縄文時代のものと考えられる土坑が 1 基検出された。また、それ以外の 4 箇所のトレンチから縄文土器が出土した。時期は早期が多い。事業地東側のまとまった範囲に、遺構ないしは包含層が存在するものと考えられる。



外屋敷XIX遺跡 トレンチ位置図



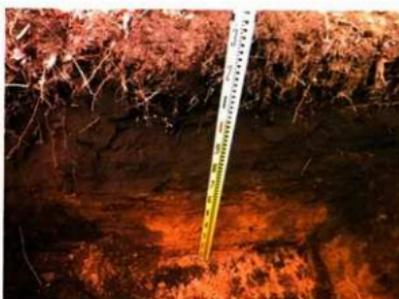
調査前風景



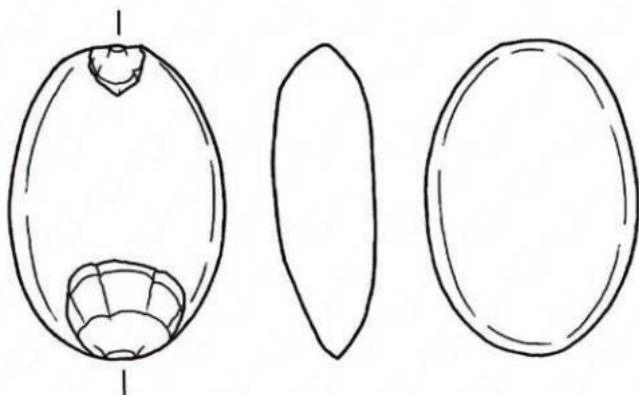
重機による掘削状況



T59 土坑検出状況



土層断面



出土遺物 (T9)

5 三陸沿岸道路（久慈～侍浜）

北野双道跡（J600-1088）

【所在地】 久慈市侍浜町北野地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 4 月 10 日（木）
～11 日（木）

【調査結果】 調査地は、高家川の支流沿いの台地上に位置し、JR侍浜駅の南東約 2 km の地点に位置する。西側の谷に面する斜面と台地上の平坦部からなり、現況は山林と宅地、畑地である。

なお、道路南側は昨年度に本調査まで終了、道路北側のうち西側の牧草地では試掘の結果縄文時代の陥し穴が 1 基検出され、800 m²を本調査対象としている。

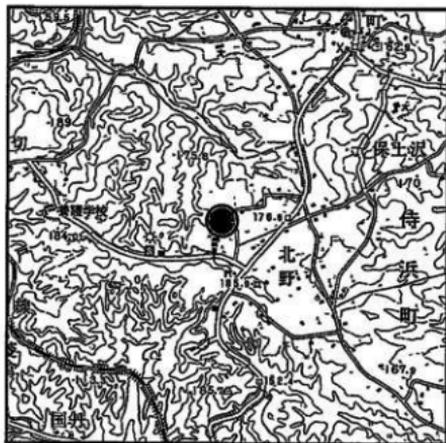
対象地のうち、宅地以外の全体にトレンチを 99 箇所（T 1～48、101～123、201～228）設定し調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

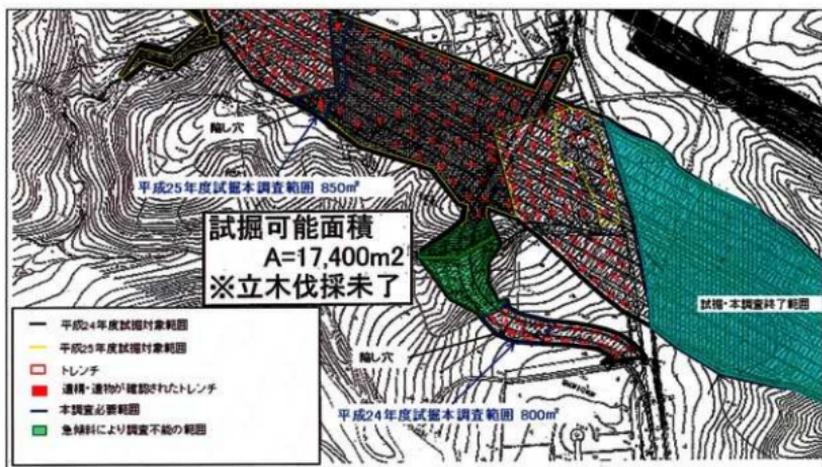
- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| I 層 表土 | 層厚 10～20 cm（木根多量に含む） |
| II 層 黒褐色土 | 層厚 20～60 cm（黒色腐植土主体、しまり強、斜面部は厚い） |
| III 層 褐色土 | 層厚 20～35 cm（黒色土とローム質土が斑状に混合、しまり強） |
| IV 層 黄褐色土 | 層厚 15 cm～（ソフト化したローム質土、粘性やや強） |

その結果、層厚に差異はあるものの、ほぼ基本層序どおりの堆積状況を示していたが、畑地とその周辺の疎林部分は造成の痕跡が顕著であった。地山面まで掘り下げて確認を行った結果、対象地中央の旧地形をどめた山林に設定したトレンチで、縄文時代と考えられる土坑と炉跡が 1 基ずつ検出された。また、いずれのトレンチからも縄文土器が出土した。時期は早期が中心と考えられる。

本来は、北野双道跡に連続する包蔵地であったものが開墾等で造成され、残った部分が今回の試掘で確認されたと推測される。



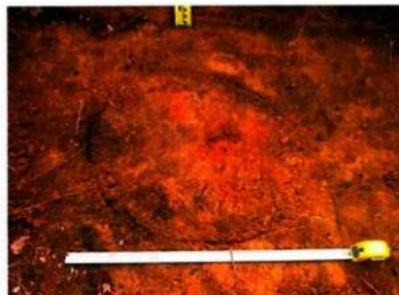
北野双道跡 位置図



北野刈遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



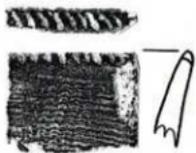
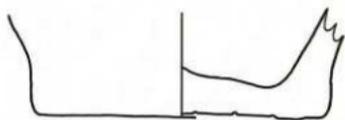
T48 土坑検出状況



T48 土坑検出状況



T123 土坑検出状況



出土遺物 1 (T123)



出土遺物 2 (T48 土坑)

6 三陸沿岸道路（昔代～久慈）

伏津館 (J650-2353)

【所在地】 九戸郡野田村野田地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 5 月 28 日（火）
～29 日（水）

【調査結果】 調査区域は、野田村役場の西約 800m の独立丘陵に位置する。平成 25 年 2 月 15 日付け教生第 1562 号の回答で、本線センター杭 No.610～626 付近の間を発掘調査必要として取り扱っていたが、地表面に遺構が確認できない部分があることから試掘調査を実施し、発掘調査範囲を再検討することとした。

基本層序は以下のとおりである。

（南側調査区域）

- | | | |
|-------|---------|--------------------------|
| I 層 | 表土 | 層厚 10～30 cm |
| II 層 | 黒～黒褐色土 | 層厚 20cm (橙褐色、黄灰色のテフラを含む) |
| III 層 | 暗褐色土 | 層厚 20cm |
| IV 層 | 灰褐色砂質土 | 層厚 50cm |
| V 層 | 暗赤褐色砂質土 | (層厚不明、地山) |

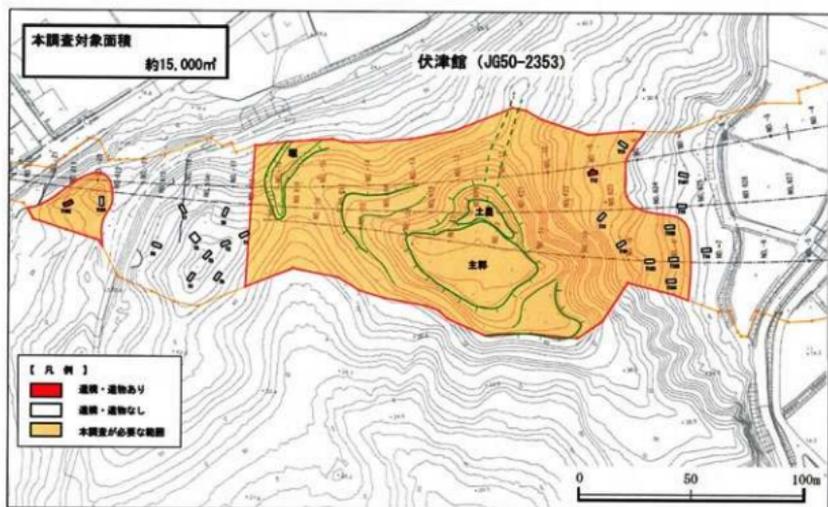
（北側調査区域）

- | | | |
|--------|------------|----------------------------|
| I 層 | 表土 | 層厚 20cm |
| II 層 | 黄褐色土 | 層厚 10～40cm |
| III 層 | 暗褐色土 | 層厚 20cm |
| IV 層 | 黒色土 | 層厚 5～10cm (橙褐色、黄灰色のテフラを含む) |
| V 層 | 暗褐色土 | 層厚 20～40cm |
| VI 層 | 黒褐色・暗褐色砂質土 | 層厚 40cm |
| VII 層 | 黄褐色砂質土 | 層厚不明 |
| VIII 層 | 風化砂岩 | 層厚不明 (地山) |

試掘トレンチ T12、102 では竪穴住居跡と推定される黒色土の落ち込みが検出され、T12 で縄文時代後期（または晩期末）の土器片、T102 で土師器片が出土した。また、T103～105 付近では、館の構築時に生じたと推定される黄褐色土が堆積していた。なお、センター杭 No.611～615 の間及び No.625 付近の斜面西側では、遺構・遺物とも検出されなかった。



伏津館 位置図



伏津館 トレンチ位置図



調査地遠景



調査前風景



T12 竪穴住居跡検出状況



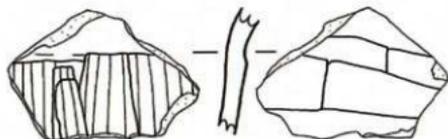
人力による試掘状況



出土遺物 1 (T12)



出土遺物 2 (T102)



出土遺物 3 (T102)

7 三陸沿岸道路（菅代～久慈）

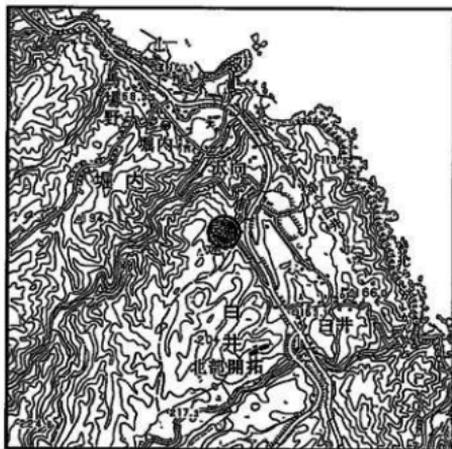
長途遺跡（JE82-1007：新規遺跡）

【所在地】 下閉伊郡菅代村第19地割
字白井内地

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年4月24日（水）
～26日（金）

【調査結果】 当該調査区は菅代村役場の北北西約4.2kmに所在する。リアス式海岸の段丘上に位置し、標高は85～125mで、現況は山林である。今回の調査は、調査区のほぼ全域にわたって、36本のトレンチを設定した。



長途遺跡 位置図

基本層序は以下のとおりである。

- I層 黒色土 層厚 10～15 cm
- II層 暗褐色土 層厚 15～20 cm（表土）
- III層 褐色土 層厚 30cm（包含層）
- IV層 黄褐色土 層厚不明（地山）

調査の結果、土坑2基、縄文土器数十片、石鏃1片を確認した。土坑はT18と20において深さ30cm、III層上面で確認した。埋土上面には、中^{ちゅう}嶽火山灰が広がっていたことから、縄文時代前期の遺構と考えられる。また、南向き緩斜面及び北向き緩斜面に設定したT8～20においては、基本層序どおりであり、改変された形跡は見当たらず、縄文土器もIII層中より全面にわたって出土したことから、この範囲に住居跡などの遺構がある可能性は高いと考えられる。

T1から7においては、表土直下からIV層下位の風化花崗岩層まで掘削されており、地形が改変されていることが分かった。また、T21より南側の北向き斜面は、III層がほとんどなく、遺構及び遺物を確認することができなかった。



長途遺跡 トレンチ位置図



T18 土坑検出状況



T20 土坑検出状況



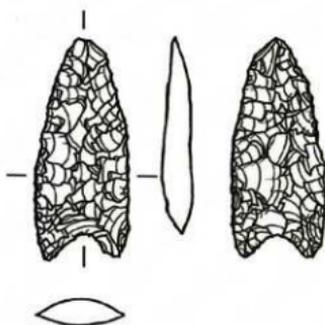
遺跡全景



出土遺物 1 (T10)



出土遺物 2 (T10)



出土遺物 3 (T10)

8 三陸沿岸道路（田老～岩泉）

ひがしよまへ
向新田Ⅲ遺跡 (KG74-2133)

【所在地】 宮古市田老字向新田地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 5 月 8 日（水）
～ 9 日（木）

【調査結果】 当該調査区はグリーンピア田老から南西へ約 0.8 km、海岸から内陸へ約 1.3km の丘陵上に位置する。付近は小河川の源流部にあたり、湧水を利用した溜め池が点在している。



向新田Ⅲ遺跡 位置図

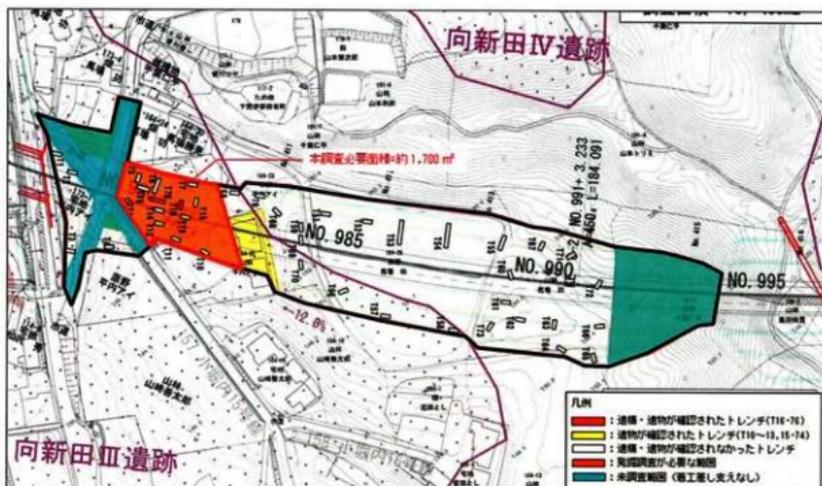
試掘調査対象区域は、分布調査で遺跡北側の部分にも埋蔵文化財の所在の可能性があると考えられた区域で、現況は北から山林、原野（水田跡）、現土地所有者の住宅及び前庭、畑地、資材置き場、市道、宅地となっている。

基本層序は以下のとおりである。

- I層 表土 層厚 20～30 cm（明赤褐色礫主体の盛土箇所は 20～110cm）
- II層 黒褐色土 層厚 30cm（黄褐色粘土粒が混入するところあり）
- III層 暗褐色土 層厚 20cm
- IV層 暗褐色、黄褐色土混在 層厚 20cm（漸移層）
- V層 黄褐色粘土 層厚 40～60cm
- VI層 黄褐色砂礫 層厚不明（以下地山）
- VII層 明赤褐色礫 層厚不明

土地所有者の住宅周辺は、過去に平坦に造成され、発生土が前庭から南側の畑にかけて盛られていた。盛土の下には遺物包含層が良好に残存し、土器・石器が出土した。土器は縄文時代（時期不詳）のものが多いが、縄文晩期～弥生頃に属するものもみられる。宅地南側の畑地からは土坑 2 基が検出された。うち 1 基は、プラスチックピットと考えられる。これらの範囲については発掘調査が必要と判断される。

なお、今回未調査範囲のうち、北側の山林部分は急傾斜地であり隣接部分で遺構などが確認されなかったことから、埋蔵文化財は所在しない可能性が高い。また、南側の市道及び資材置き場については、造成時に削平されていることが確認された。



向新田III遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



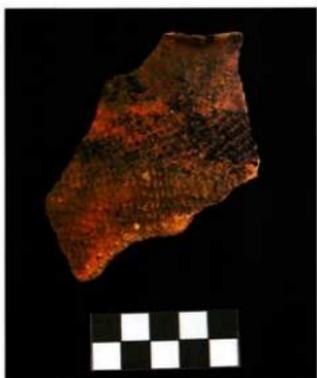
T11 調査風景



T16 土坑検出状況



T76 フラスコ状ピット検出状況



出土遺物 1 (T11)



出土遺物 2 (T11)



出土遺物 3 (T11)

9 三陸沿岸道路 (田老～岩泉)

青ノ滝北 I・II 遺跡

(K684-0118・K684-0108 : 新規遺跡)

【所在地】 宮古市田老字青野滝北地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 6 月 18 日 (火)
～ 7 月 2 日 (火)

【調査結果】 当該調査区は、宮古市田老総合事務所の北北東約 5 km に所在する。海岸段丘上に位置し、標高は 165～148m で、現況は山林である。調査区のほぼ全域にわたって、72 本のトレンチを設定した。

基本層序は以下のとおりである。

- I 層 黒色土 層厚 5～10 cm (表土)
- II 層 暗褐色土 層厚 15～20 cm
- III 層 褐色土 層厚 30～40cm (包含層)
- IV 層 黄褐色土 層厚不明 (地山)

調査の結果、調査区南側と調査区中央部の東向き緩斜面において、縄文時代の遺構（土坑 8 基、焼土 1 基）と遺物（縄文土器、石斧）を確認した。

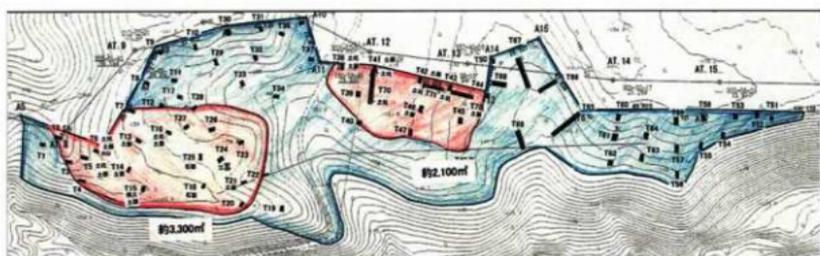
調査区南側では、T 5、6、16 において土坑 3 基を検出した。いずれのトレンチも III 層まで掘り下げると、中礫火山灰や炭化物粒が広がっており、断面には掘り込みも確認できた。T 15 では III 層上面で焼土を検出した。周辺からは縄文土器が多数出土していることから、住居跡の炉であった可能性もある。T 13～16、21、25 では縄文土器、T 18、25 からは石斧の破片がいずれも III 層上面で出土した。

調査区中央部では、T 38 と 70 (T 41 を延長)、T 71 において土坑 5 基を確認した。調査区南側と同様に遺構の周辺からは縄文土器が数片出土している。T 42、46、72 においても縄文土器が出土しているが数片だけであり、調査区南側に比べ少量であった。

調査区の北側境に設定したトレンチからは、遺構や遺物が確認されていることから、遺跡本体は調査区北側の平場で、調査区中央部は遺跡の南端部であったと考えられる。



青ノ滝北 I・II 遺跡 位置図



青ノ滝北Ⅰ・Ⅱ遺跡 トレンチ位置図



調査風景



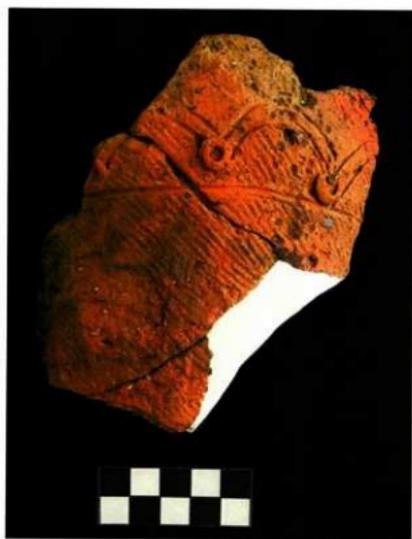
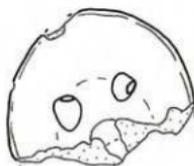
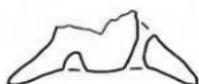
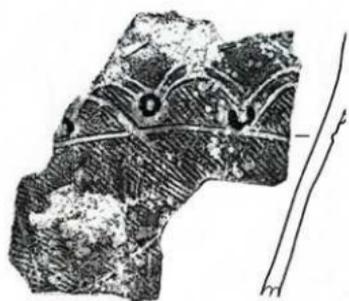
T5 土坑検出状況



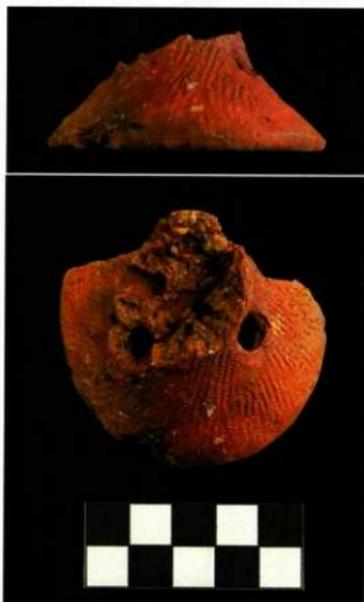
T15 焼土検出状況



T16 土坑検出状況



出土遺物 1 (T16)



出土遺物 2 (T38)

10 三陸沿岸道路（田老～岩泉）

青の滝北Ⅲ遺跡 (KG74-2290: 新規遺跡)

【所在地】 宮古市田老字青野滝北地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 6 月 20 日（木）
～ 7 月 1 日（月）

【調査結果】 調査区は、宮古市役所から北へ 15km に位置する。標高は 136～160m であり、現況は山林である。調査区は南北に細長く伸びる尾根上であり、東側と西側には深い谷が入っている。遺構・遺物を確認するため、尾根上や緩斜面地を中心に、合計 65 本のトレンチを入れた。

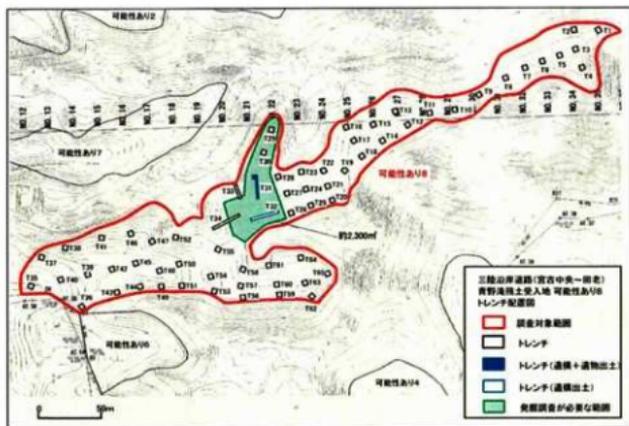
基本層序は以下のとおりである。

- I 層 表土 層厚 15 cm
- II 層 褐色土 層厚 20 cm
- III 層 黄褐色土 層厚不明（地山）

調査の結果、T31 において縄文土器片が十数点出土した。また、T31 と 32 では、土坑や竪穴住居跡とみられる焼土を伴う遺構が検出された。他のトレンチで遺構・遺物が発見されなかったことから、T31 が位置する東西方向の尾根を中心に、小規模な集落が展開しているものと推測される。



青の滝北Ⅲ遺跡 位置図



青の滝北Ⅲ遺跡 トレンチ位置図



調査風景



T31 竪穴住居跡検出状況



T31 土坑検出状況



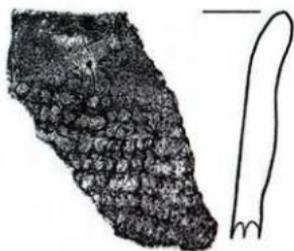
T31 焼土・炭化物検出状況



T32 作業風景



T32 土坑検出状況



出土遺物 1 (T31)



出土遺物 2 (T31)

11 三陸沿岸道路（宮古市田老～岩泉）

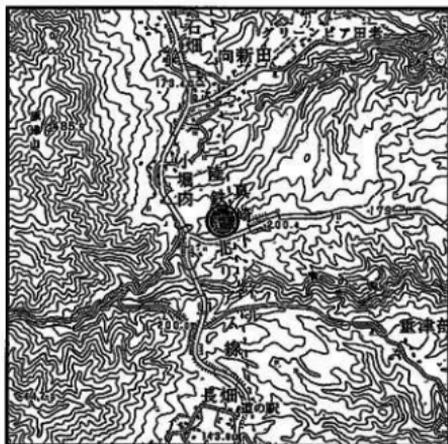
乙部遺跡 (KG84-0069)

【所在地】 宮古市田老字重津部北地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 4 月 15 日（月）
～16 日（火）

【調査結果】 調査地は、道の駅たろうから北へ約 1.4km に位置し、明神崎へ向かって伸びる丘陵上に立地する。今回の調査は、三陸道にかかる乙部遺跡の範囲のうち、前回に調査（平成 24 年 10 月 1 日付け、教生第 942 号で回答済み）で実施できなかった北側地区（7,400 m²）の試掘調査である。



乙部遺跡 位置図

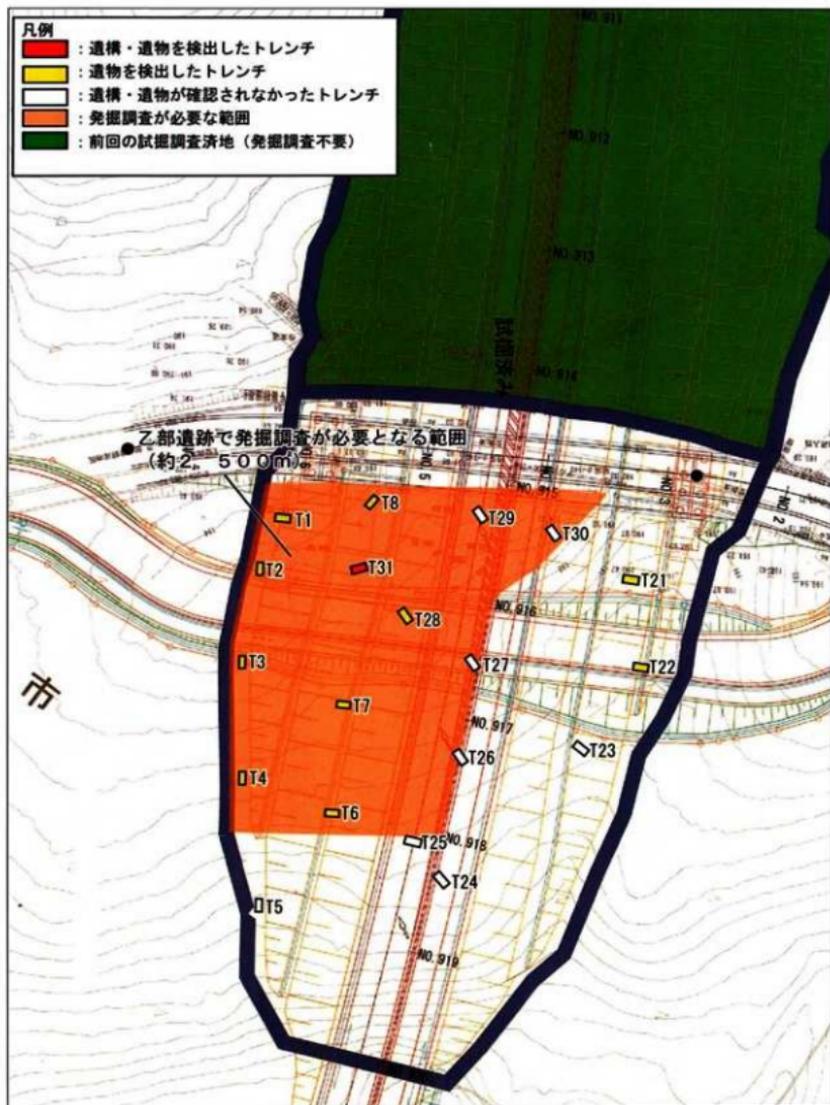
調査は、幅 1 m・長さ 2 m を標準とする 19 ヶ所のトレンチを調査地に設定して遺構・遺物の確認に努めた。

基本層序は以下のとおりである。

- | | | |
|-------|--------|------------------------------------|
| I 層 | 表土 | 層厚 10～15 cm (腐植土) |
| II 層 | 暗灰色土 | 層厚 15～25 cm |
| III 層 | 灰褐色土 | 層厚 10～45 cm (一部に地山土、II 層土のブロックを含む) |
| IV 層 | 黄茶色粘質土 | 層厚不明 (径 10cm 大の礫を多く含む、地山) |

調査の結果、尾根上の平坦地に設定した T31 より竪穴住居跡とみられる幅 2 m 以上の遺構を検出した。遺構は淡灰褐色土の埋土を持ち、縄文土器・石器が出土した。この周辺に設定した T1～4・6～8・28 では、I～III 層中より縄文土器・石器が出土した。これらのトレンチでは、明確な遺構は確認されていないものの、遺物の多くが II 層・III 層から検出されており、付近に遺構が存在する可能性が高い。

一方、調査地東側の谷部に設定した T21・22 からも数点の縄文土器が出土しているが、これらについては、調査地外からの流れ込みである可能性が考えられる。



乙部遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



調査風景



T31 竪穴住居跡検出状況



出土遺物 1 (T1)



出土遺物 2 (T31 竪穴住居跡)

12 三陸沿岸道路 (田老～岩泉)

駿達 I 遺跡 (KG94-0124 : 新規遺跡)

【所在地】 宮古市田老字駿達地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 26 年 3 月 11 日 (火)
～12 日 (水)

【調査結果】 調査区は、宮古市田老地区の標高 100m 前後の丘陵に位置する山林である。調査地は国道 45 号線に隣接しており、この北側約 1.5km には道の駅たろうが所在する。周辺の丘陵には、新田 I 遺跡 (KG84-2152) や越田松長根 I 遺跡 (KG94-0273) などの縄文時代の散布地が確

認されており、当該地も類似した地形であることから、同時期の遺跡が所在する可能性が高いと判断された。

調査にあたっては人力掘削により、幅 1m、長さ 3m を標準とするトレンチを設けて、遺構・遺物の有無を確認することとした。

基本層序は以下のとおりである。

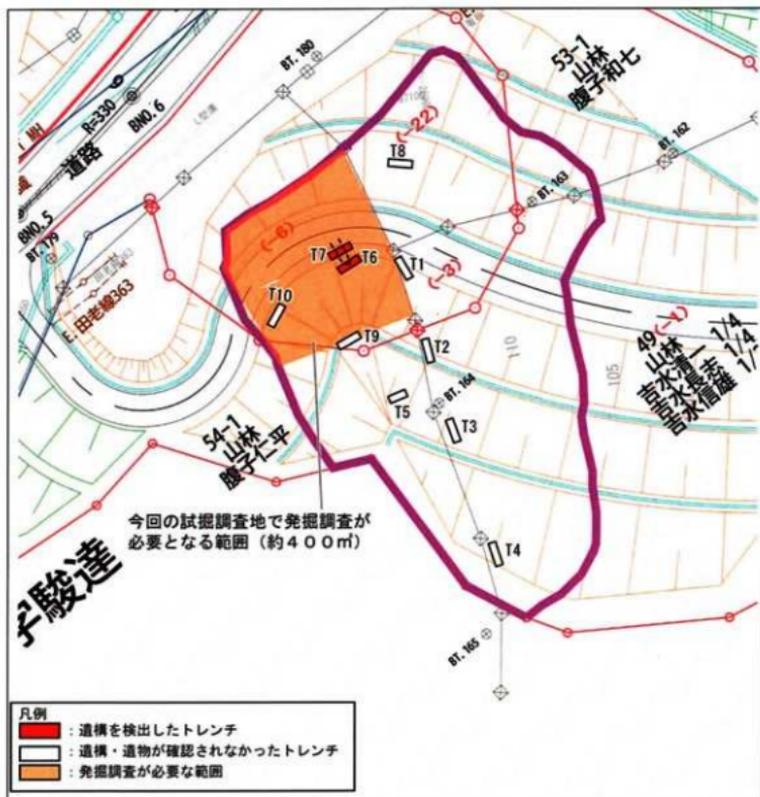
- | | | |
|-------|-------|----------------|
| I 層 | 表土 | 層厚 10 cm |
| II 層 | 暗橙褐色土 | 層厚 10～20 cm |
| III 層 | 淡橙色土 | 層厚 15 cm (漸位層) |
| III 層 | 橙褐色土 | 層厚不明 (地山) |

調査の結果、T 6・7 において長さ 2.8m 以上、幅約 1.7m を測る炭窯を確認した。この遺構は、丘陵緩斜面に等高線に並行して長軸を設けており、築土などの分布から見て、焚口が側面に付く横口式の炭窯と判断される。遺構の時期を示す遺物が出土しなかったものの、その構造から判断して、古代～中世の炭窯と推定される。

一方、他のトレンチでは明確な遺構・遺物は確認されなかった。



駿達 I 遺跡 位置図



駿達 I 遺跡 トレンチ位置図



雪中の人力調査風景



T6・7 炭窯検出状況

13 三陸沿岸道路（宮古～田老）

高根遺跡 (L623-1253)

【所在地】 宮古市山口第11地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年9月25日（水）
～26日（木）

【調査結果】 調査地は、三陸鉄道北リアス線山口団地駅の北約1.4kmの山口川右岸台地に位置する。対象区域の地形は、東向き斜面を小沢が侵食した谷地形で、沢の兩岸にテラス状の緩斜面がみられる。また、沢部分と斜面縁部の2箇所に湧水箇所がある。

現況は谷底の部分が畑地で、斜面部分は主に杉が植林された山林である。畑地は過去に山側を掘削し均平されている。山側は掘削を受けているが、沢部分は1.5m以上盛土されている。

基本層序は以下のとおりである。

- I層 表土 層厚 15～40cm
- II層 黒褐色土 層厚 15～50cm（縄文時代中期の遺物包含層）
- III層 暗褐色土 層厚 30～50cm（縄文時代中期の遺物包含層）
- IV層 暗黄褐色土 層厚不明
- V層 灰褐色砂 層厚不明（マサ土）

調査は、対象区域に1×2mを基本とするトレンチを設定し、人力により掘削を行った。地山までを掘削することを基本としたが安全面を考慮し、途中で掘削を終了したトレンチもある。遺構はT5・12の2箇所で見つかり、T12は複式炉を伴うもので、T5も石囲炉とみられる礎がみられた。また、捨て場遺構がT1・10で見つかり、多量の縄文時代中期後半の土器が出土した。T10の掘削は地山に達しなかったが、1.3mを超える遺物包含層の堆積を確認した。また、T7においては、1.8mを超える縄文時代中期の遺物包含層が確認されている。

なお、今回試掘対象区域の南端に当たるT1でも土器が多量に出土したが、当初試掘を必要とした区域外の南側斜面上位（トレンチ位置図中の斜線範囲）にも、埋蔵文化財の包蔵範囲が及ぶことが想定されることから、本調査対象範囲に含まれる必要があると判断される。



高根遺跡 位置図



高根遺跡 トレンチ位置図



調査地遠景



調査風景



T5 竪穴住居跡検出状況



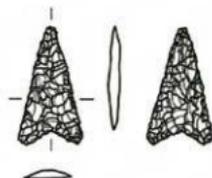
T12 複式炉検出状況



出土遺物 1 (T10)



出土遺物 2 (T10)



出土遺物 3 (T11)



14 三陸沿岸道路（宮古～藤原）

磯鶏石崎遺跡 (LG34-1048)

【所在地】 宮古市磯鶏第1地割石崎地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年5月13日（月）
～15日（水）

【調査結果】 磯鶏石崎遺跡は、JR山田線磯鶏駅北側約200mの、宮古湾を一望にできる丘陵上に位置する。当該遺跡は、縄文土器や土師器が確認される散布地である。今回の調査は急峻な丘陵のやせ尾根とその間にある狭い谷地形に28箇所のトレンチ（長さ約2m・幅約1m）を設定して、遺構・遺物の有無について確認した。

基本層序は以下のとおりである。

- | | |
|--------------|----------------|
| I層 表土 | 層厚 5～20cm（腐植土） |
| II層 灰褐色～黒灰色土 | 層厚 10～20cm |
| III層 暗黄灰色土 | 層厚 10～20cm |
| IV層 橙色土 | 層厚不明 |

調査の結果、調査地西端の尾根では、T51より竪穴住居跡1棟が確認され、住居埋土より土師器破片が出土した。住居は掘り方の深さ約0.4mを測り、床面を覆う灰褐色土中に、直径2cm前後の炭化物が多量に認められる。一方、隣接する谷地形に設けたT52からも土師器片（1点）が出土したが、出土層位が表土層であることから、尾根からの流れ込みと判断される。地形の状況から、尾根先端の平坦地（A地区：面積約1,120㎡）に古代の竪穴住居跡が分布していると判断される。

調査地東南部では尾根先端の三日月状の平坦地（B地区：面積約260㎡）に設定したT17より、時期不明の土坑3基を検出した。土坑1は直径1.5m以上、深さ0.7mを測り、構築時期は他の2基の土坑に先行する。これらは土層などから判断して、近世期の土坑墓の可能性が考えられる。

なお、これら以外のトレンチでは明確な遺構・遺物は確認されなかった。



磯鶏石崎遺跡 位置図



磯鷄石崎遺跡 (A地区) トレンチ位置図



磯鷺石崎遺跡 (B地区) トレンチ位置図



機械掘削状況



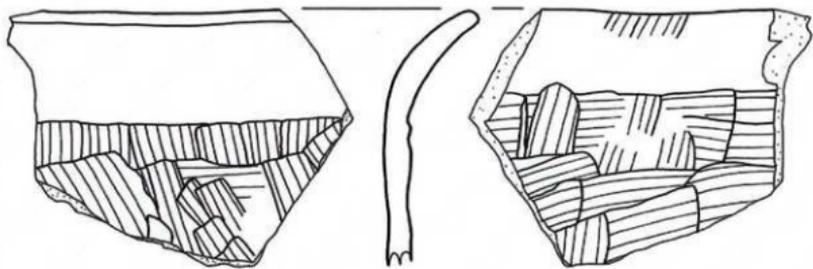
人力掘削状況



T17 土坑検出状況



T51 竪穴住居跡検出状況



出土遺物 (T50)

15 三陸沿岸道路（山田～宮古）

沼里遺跡（LG53-1225）隣接地

【所在地】 宮古市津軽石字沼里地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 26 年 2 月 12 日（水）
～14 日（金）

【調査結果】 当該地は、宮古湾の最奥部に流れ込む津軽石川左岸にあり、津軽石小学校西側約 200m の丘陵緩斜面に立地する。周辺には縄文時代・古代の集落跡である沼里遺跡（LG53-1225）や津軽石大森遺跡（LG53-1207）が存在する。



沼里遺跡隣接地 位置図

今回の調査は、第 1 次試掘調査（平成 25 年 2 月 18 日付け、教生第 1575 号により回答済み）で、縄文時代・古代の遺物包含層を検出した B 地区と、その周辺の緩斜面について、遺構の有無などを確認するために実施した詳細試掘調査である。

今回の調査では、重機を用いて 7 箇所の特レンチを設定し、遺構などの有無を確認した。前回の調査で本調査範囲とした B 地区については、5 m 四方を標準とする特レンチを設定し、遺構・包含層の内容確認を行うこととし、その周辺地区については筋掘り特レンチ（幅約 1 m × 長さ約 15 m）を設定して遺構などの広がりを確認した。

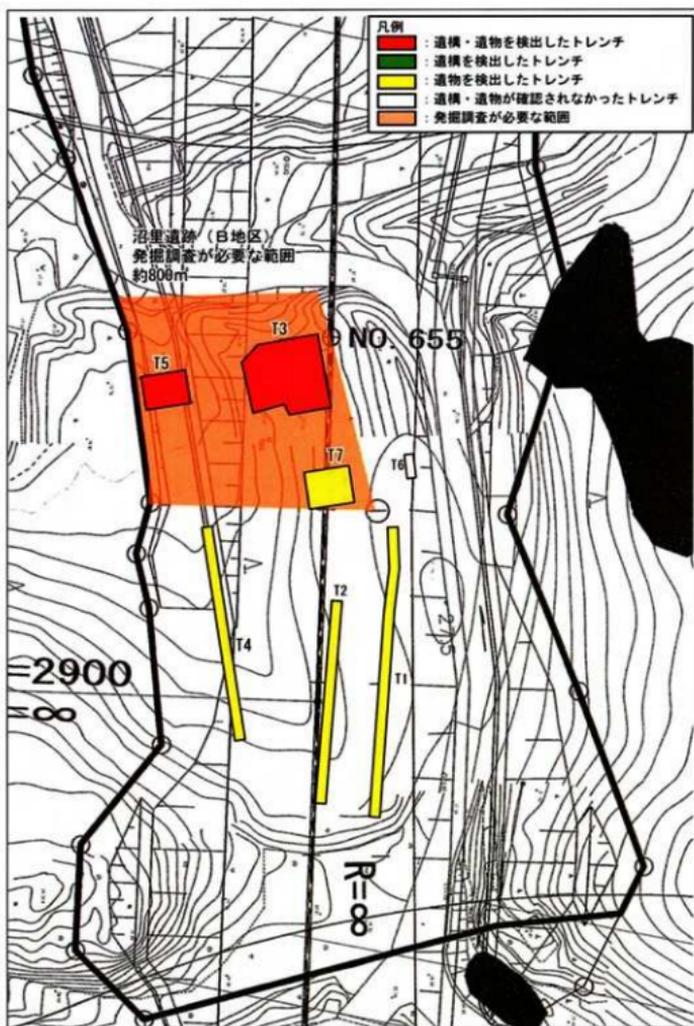
基本層序は以下のとおりである。

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| I 層 | 表土 | 層厚 10～20 cm |
| II 層 | 暗灰褐色土 | 層厚 40～60 cm |
| III 層 | 黒褐色土 | 層厚 10～40 cm |
| IV 層 | 暗灰色土 | 層厚 20 cm（遺構検出面） |
| V 層 | 黄褐色土 | 層厚不明（地山） |

調査の結果、B 地区では T 3 において古代の竪穴住居跡を 3 棟、T 5 において柱穴 8 基を検出した。竪穴住居跡 1 は、煙道を持つ方形の住居跡である。T 5 で確認した柱穴も埋土の状況からみて、竪穴住居跡である可能性が高い。これらの特レンチでは遺構埋土を中心に、土師器・須恵器・製塩土器・縄文土器が出土した。一方、T 7 では、耕地造成によって大きく攪乱されており、遺構は確認されなかった。遺物は少量の土師器が出土した。

B 地区周辺の特レンチでは、T 7 と同じく、耕地や旧道の造成時に土層が大きく攪乱されており、明確な遺構は検出されなかった。遺物は T 1・2・4 から数点の土師器が出土したものの、これらの多くが東側へ落ちる谷地形の埋土から出土しており、調査区外からの流れ込みと判断される。

今回の調査では、B地区（約800㎡）において、古代の集落跡が存在することや、これらの遺構がB地区の外側に広がらないことが判明した。



沼里遺跡隣接地 トレンチ位置図



調査時風景



T3 竪穴住居跡検出状況



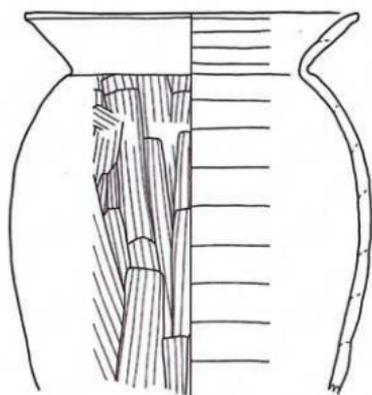
T5 ピット群検出状況



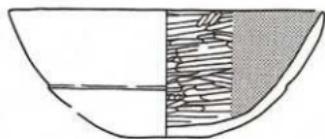
人力による雪中試掘風景



出土遺物（土師器・須恵器・製塩土器）



出土遺物 1 (T3)



出土遺物 2 (T3)

16 東北横断自動車道釜石秋田線 遠野道路
(遠野～遠野住田)

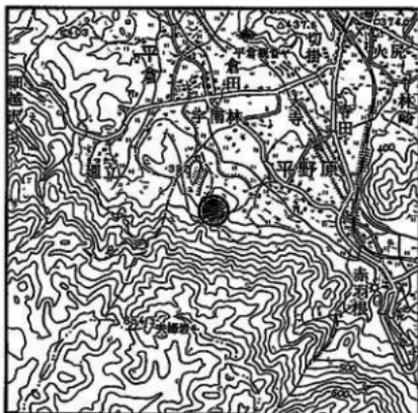
平野原Ⅲ遺跡 (MF76-0023 : 新規遺跡)

【所在地】 遠野市上郷町平倉 34 地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 5 月 22 日 (水)

【調査結果】 調査地は、猿ヶ石川支流早瀬川沿いの低地に面した丘陵中腹に立地し、JR平倉駅から西南西約 1.8km の地点に位置する。丘陵裾の緩斜面となっており、現況は山林である。対象地全体にトレンチを 11 箇所 (T 1～11)



平野原Ⅲ遺跡 位置図

設定し調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 10～40 cm

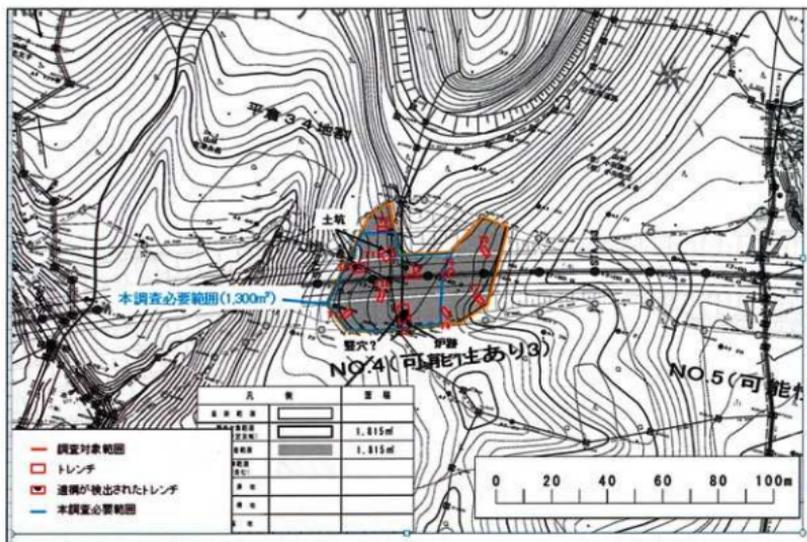
II 層 黒褐色土 層厚 0～50 cm (黒色腐植土主体、しまり強)

III 層 褐色土 層厚 0～20 cm (黒色土とローム質土が斑状に混合、しまり強)。

IV 層 黄褐色土 層厚 15 cm～ (ソフト化したローム質土、粘性やや強)

その結果、ほぼ全域基本層序どおりの地積状況を示していた。地山面まで掘り下げて確認を行った結果、対象地中央部の平坦面に設定したトレンチ 2 箇所ですくが 2 基検出された。そのうち 1 基の埋土から縄文土器が出土した。また、それ以外の 1 箇所のトレンチからはやや規模の大きい方形のプランと、焼土や炭化物が多量に含まれる炉跡状の遺構が検出された。両者が同一の遺構である可能性もある。対象地北西側の緩斜面に設定したトレンチからは遺構・遺物とも確認されなかった。

以上のことから遺構の分布域は平坦面上にあるものと推測される。



平野原Ⅲ遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



調査風景



T2 土坑検出状況



T3 竪穴状遺構検出状況



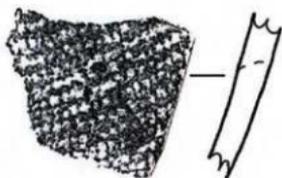
T3 炉跡検出状況



T1 土層断面



T11 土坑検出状況



出土遺物 (T2 土坑)

17 東北横断自動車道釜石秋田線 遠野道路
(遠野～遠野住田)

▲田Ⅱ遺跡 (MF55-2067: 新規遺跡)

【所在地】 遠野市遠野町32地割

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

【調査期日】 平成25年12月6日(金)

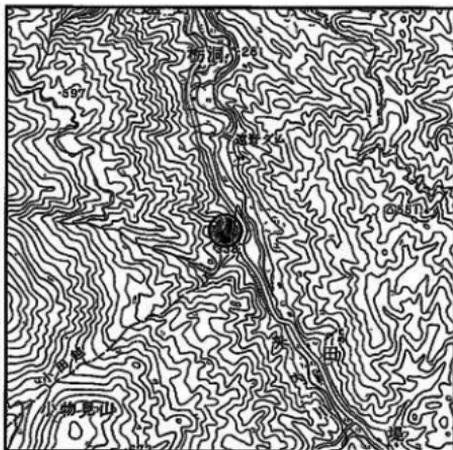
【調査結果】 調査地は、遠野市役所より南南東へ約2.8km、猿ヶ石川の支流来内川沿いの丘陵裾に位置する。沢沿いの平坦面で、現況は山林である。なお、調査対象地より下流側の来内川に面した河岸段丘上には、周知の埋蔵文化財包蔵地である橋洞Ⅱ遺跡 (MF55-0093)、夫婦石袖高野遺跡 (MF55-1057)、▲田遺跡 (MF55-2016) が所在する。

基本層序は以下のとおりである。

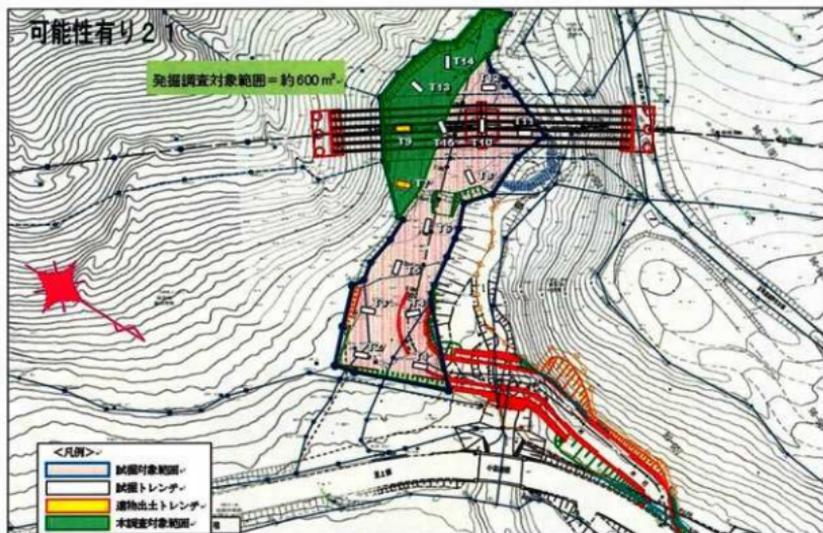
- | | | |
|------|------|-------------------------------------|
| I層 | 表土 | 層厚 10～50cm |
| II層 | 褐色土 | 層厚 0～30cm (風化花崗岩流れ込み) |
| III層 | 黒色土 | 層厚 15～70cm (縄文土器出土、T7・9は層厚 20～30cm) |
| IV層 | 暗褐色土 | 層厚 0～25cm (漸移層、花崗岩転石を含む場合あり) |
| V層 | 褐色土 | 層厚不明 (風化花崗岩で地山、花崗岩転石を含む場合あり) |

調査の結果、概ね基本層序のような堆積状況が確認された。T7・9で縄文晩期末頃と推定される土器がまとまって出土した。T1～6は段落ち状の地形になっており、造成によって削平を受けていた。T8・11・12はIII層が存在せず、花崗岩の転石が出土したものの、全てのトレンチにおいて遺構を確認することはできなかった。

遺物の出土したトレンチは少ないが、破片が大きく量もまとまっていること、背後は急斜面で集落が形成されそうな尾根等が存在しないことから、流れ込みとは考えにくく、造成による削平や沢の影響等によって、遺跡の残存範囲が縮小されたものと思われる。



▲田Ⅱ遺跡 位置図



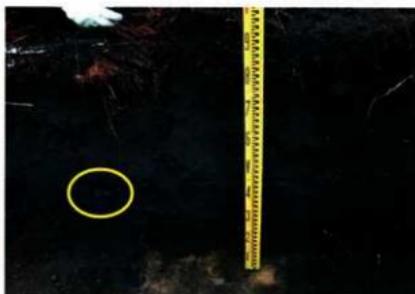
ア田Ⅱ遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



重機による作業風景



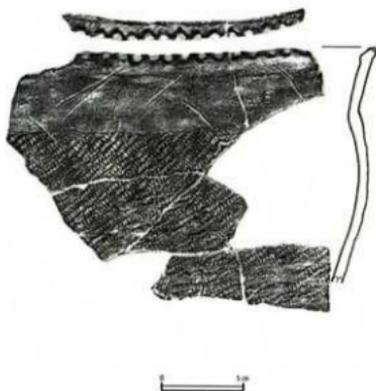
T 7 遺物出土状況（黒褐色土層より出土）



T 9 遺物出土状況（黒褐色土層より出土）



T 5 土層断面



出土遺物（T 9）

18 東北横断自動車道釜石秋田線 遠野道路
(遠野～遠野住田)

標洞Ⅲ遺跡 (MF55-1023: 新規遺跡)

【所在地】 遠野市遠野町 31 地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 7 月 11 日 (木)

【調査結果】 調査地は、猿ヶ石川の支流内川沿いの丘陵裾に立地し、遠野第二ダムから南約 300m に位置する。斜面中腹の斜面と沢沿いの平地地からなり、現況は山林と休耕地である。

対象地の南西部は、丘陵から伸びる尾根となっており傾斜が急なため、トレンチの設定が困難であった。そのため比較的平坦な場所を選んでトレンチを 30 箇所 (T1～13, 101～117) 設定し、調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 10～20 cm

II 層 黒褐色土 層厚 0～20 cm (黒ボク土)

III 層 褐色土 層厚 10～25 cm (漸移層、やや砂質)

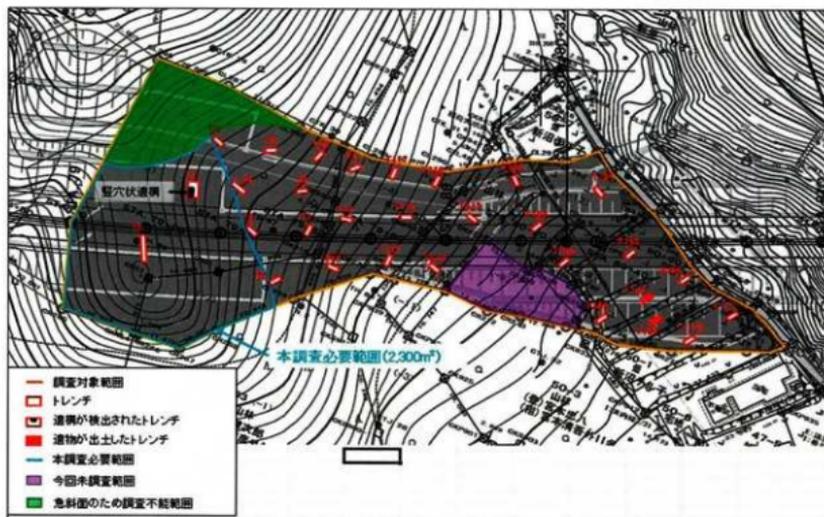
IV 層 黄褐色土 層厚 20 cm～ (地山、場所によってやや粘質)

その結果、南側の丘陵からのびるやせ尾根と、その周りの緩斜面に 3 m 四方程度の平場があり、その 1 箇所を調査したところ、竪穴状の遺構が検出された。サブトレンチを入れたところ、平坦な床面と直立する壁を持ち、土師器の小破片が出土したため、古代の竪穴住居跡の可能性が濃厚と判断される。同様の平場が他に数箇所視認されるため、やせ尾根とその周辺の原地形をとどめる範囲を要本調査とした。

それ以外の場所については、新しい地形改変の痕跡が認められるか、土壌の流出が顕著であった。北端のトレンチから縄文土器が出土したが、沢を埋めた土からの出土であり、流れ込みであると推測される。



標洞Ⅲ遺跡 位置図



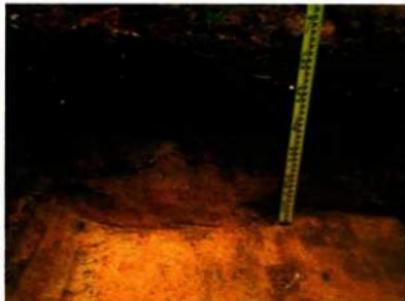
棚洞Ⅲ遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



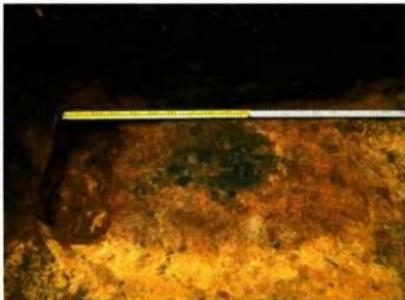
重機による掘削状況



T 1 基本層序



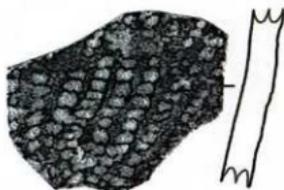
T 107 縄文土器出土



竪穴状遺構検出状況



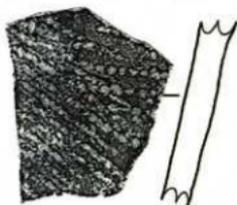
竪穴状遺構 サブトレンチ状況



出土遺物 1 (T107)



出土遺物 (T109)



出土遺物 3 (T109)

19 東北横断自動車道釜石秋田線 遠野道路
(遠野～遠野住田)

新里愛宕裏遺跡 (MF54-0227)

【所在地】 遠野市綾織町新里 30 地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 4 月 24 日 (水)
～ 5 月 8 日 (水)

【調査結果】 調査地は、猿ヶ石川沿いの台地上に位置し、五百羅漢に隣接する。丘陵裾の扇状地状の地形となっており、現況は山林と畑地である。なお、全域が周知の埋蔵文化財包蔵地である新里愛宕裏遺跡 (MF54-0227)



新里愛宕裏遺跡 位置図

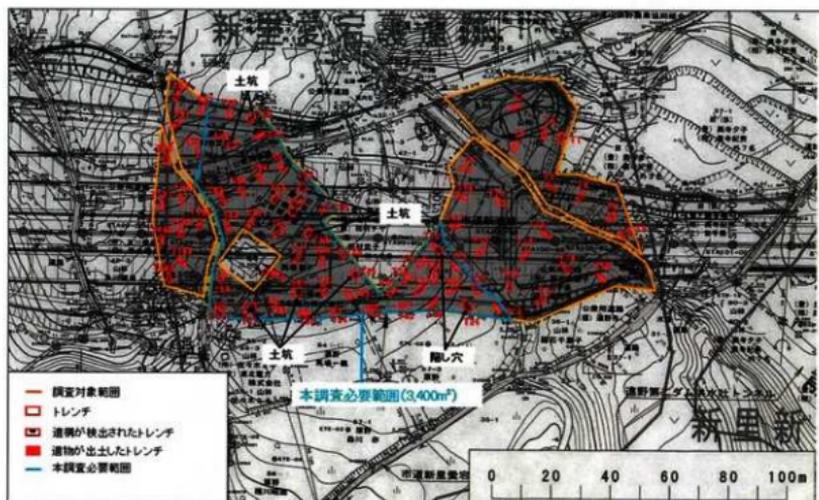
の範囲内である。

対象地のうち、畑地以外の全体にトレンチを 75 箇所 (T1～68、101～107) 設定し調査を行った。基本層序は以下のとおりである。

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| I層 表土 | 層厚 10～40 cm |
| II層 黒褐色土 | 層厚 0～50 cm (黒色腐植土主体、しまり強) |
| III層 褐色土 | 層厚 0～20 cm (黒色土とローム質土が斑状に混合、しまり強) |
| IV層 黄褐色土 | 層厚 15 cm～ (ソフト化したローム質土、粘性やや強) |

その結果、畑地と沢沿いの部分は削平、造成により地形が大きく改変されている状況であったが、それ以外の部分ではほぼ基本層序どおりの堆積状況を示していた。地山面まで掘り下げて確認を行った結果、対象地中央部の緩斜面に設定したトレンチ 10 箇所から縄文時代と考えられる土坑が 9 基、陥し穴が 2 基検出された。そのうち 1 箇所からは縄文時代晩期の土器が出土した。

また、それ以外の 2 箇所のトレンチから縄文土器後期を中心とする土器が出土している。地形改変を受けた部分以外のほぼ全域に、遺構及び遺物包含層が存在すると考えられる。



新里愛宕裏遺跡 トレンチ位置図



重機掘削作業



遺物探索作業



T44 基本層序



T20 土坑検出状況



T24 土坑検出状況



T37 土坑検出状況



T41 土坑検出状況



T48 土坑検出状況



T58 土坑検出状況



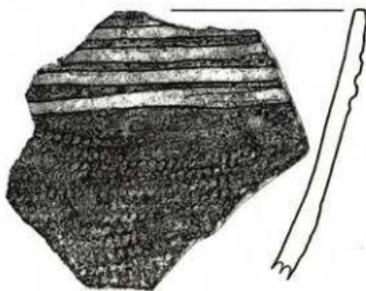
T66 土坑検出状況



出土遺物 1 (T66)



出土遺物 2 (T66)



出土遺物 3 (T4)

20 宮古盛岡横断道路 区界道路（区界～築川）

中村遺跡 (LF20-1054)

【所在地】 盛岡市築川地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

【調査期日】 平成 26 年 1 月 27 日（月）

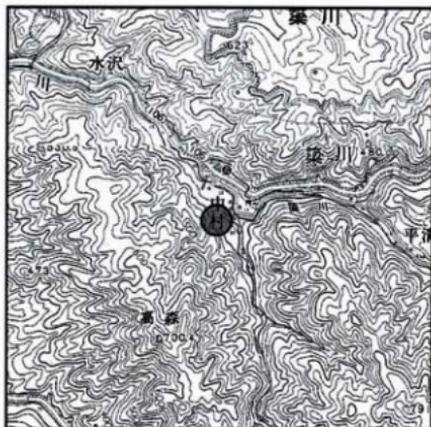
【調査結果】 調査地は、旧盛岡市立築川小学校跡地から南南東へ約 0.25km、築川左岸に面した丘陵緩斜面上に位置する。現状は山林及び牧草地である。

調査は傾斜の急な地点を避け、対象地内に 4 箇所のトレンチを設定して重機を用いて行った。調査の結果、概ね基本層序のような堆積状況が確認された。

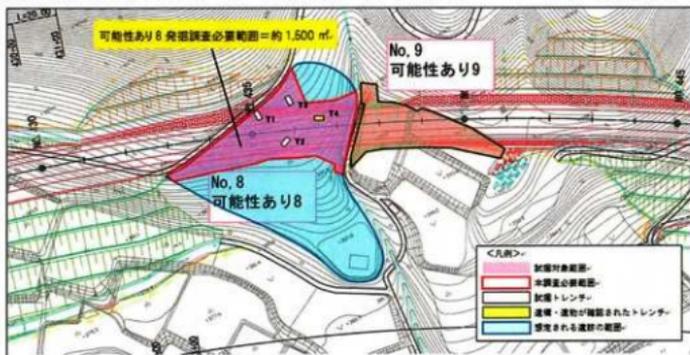
基本層序は以下のとおりである。

- I 層 表土 層厚 10～15cm
- II 層 造成土 層厚 0～20cm（Ⅲ・Ⅳ層混合土）
- Ⅲ層 黒褐色土 層厚 0～40cm（縄文土器出土、削平等により部分残存）
- Ⅳ層 黄褐色土 層厚不明（遺構検出面、地山、場所によって疎含む）

T 4 において、焼土と縄文土器が確認された。検出面での焼土のサイズは 0.7m×0.5m である。その他のトレンチは牧草地のため削平を受けており、遺構・遺物を確認することはできなかった。調査地周辺は北西方向への緩斜面であり、隣接して沢が流れている。隣接する可能性あり 9 からも造成土中から縄文土器が出土したことから、本来、周辺一体に遺跡が広がっていたものと推測される。



中村遺跡 位置図



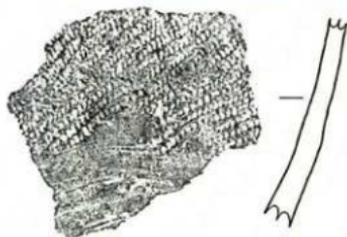
中村遺跡 トレンチ位置図



調査地風景



T4 焼土検出状況



出土遺物 (T4)

21 宮古市防災集団移転促進事業（赤前地区）

赤前Ⅲ遺跡（L654-1025）

【所在地】 宮古市赤前第7地割御蔵、
第10地割山崎地内

【事業者】 宮古市都市整備部都市計画課

【調査期日】 平成25年4月8日（月）
～18日（木）

【調査結果】 調査地は、宮古市の津軽石川河口付近、赤前小学校の南に位置し、宮古湾を臨む東側にのびる丘陵上にあたる。現状は、畑・宅地・旧道及び山林となっている。周知の包蔵地である赤前Ⅲ遺跡の範囲内に立地している。



赤前Ⅲ遺跡 位置図

調査は、重機と一部人力を使用して対象地に幅約1～2m、長さ約2～20mのトレンチを34箇所設定し、遺構・遺物の分布を確認することとした。

基本層序は以下のとおりである。

I層 表土 層厚 5～100cm

II層 黒色土 層厚 0～70cm

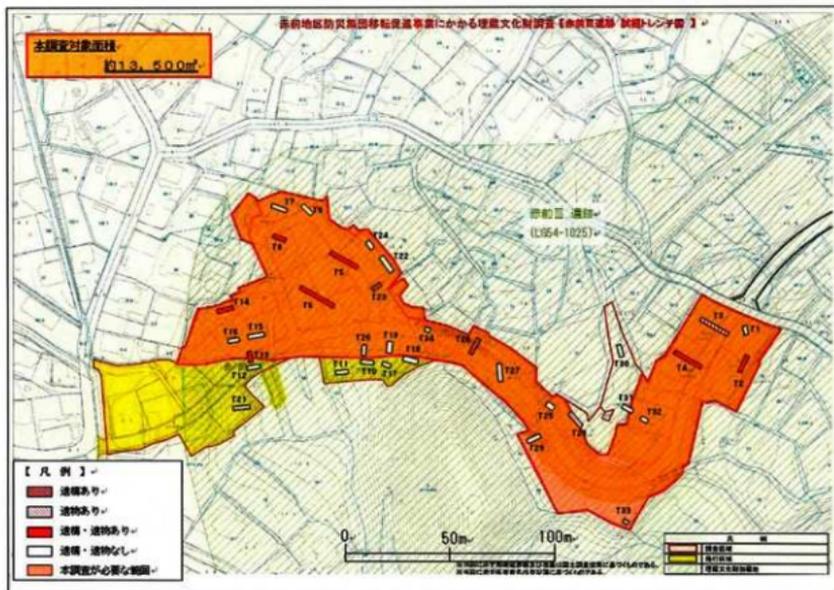
III層 暗褐色土 層厚 0～80cm（遺物包含層）

IV層 褐色土 層厚 30cm以上（地山、一部に大型礫多量に混入）

調査の結果、層厚に差異はあるものの、対象地全域でほぼ基本層序どおりに土層が堆積しているのが確認された。旧道をはさんで南西側の宅地跡・畑地に設定したトレンチ（T10～12・18～21）では土地の改変がみられ、遺構は確認されなかった。また、北東側緩斜面の畑地（T28・30～31）では造成による改変がみられ、遺構・遺物とも確認されなかった。

調査区東側、T2からは方形の竪穴状遺構と縄文土器、T3からは土坑、T4からは焼土遺構と円形土坑が2基検出された。T5からは竪穴住居跡が3棟と、炉、溝状遺構が検出され、羽口、炉壁、鉄滓、縄文土器、土師器が出土した。T6からは竪穴住居跡2棟が検出され、縄文土器、土師器が出土している。T5・6から検出された竪穴住居跡は古代のものと思われる。そのほかT13・14・23からは土坑が、T26からは竪穴状遺構が検出された。T33は、調査区内の丘陵部にあたり、褐色土層上面で縄文土器が出土している。

また、T20では、表土下50cmのところで、塩ビ管が南北に通り攪乱が確認された。



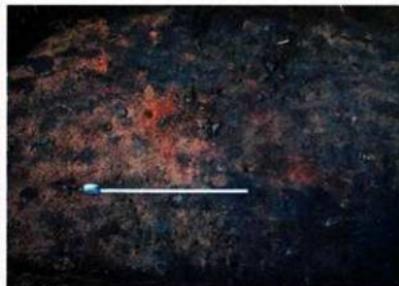
赤前Ⅲ遺跡 トレンチ位置図



調査地遠景



T 2 竪穴状遺構検出状況



T 4 焼土検出状況



T 4 土坑検出状況



T 5 竪穴住居跡検出状況



T 14 土坑検出状況



T 11 櫛状遺構検出状況



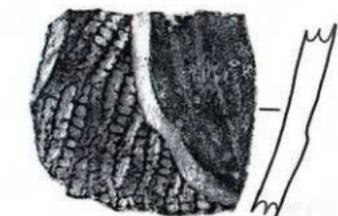
出土遺物 1 (フラスコ状土坑直上)



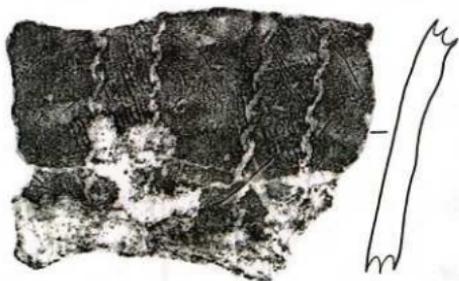
出土遺物 2 (T13)



出土遺物 3 (フラスコ状土坑直上)



出土遺物 4 (T33)



出土遺物 5 (T21)

22 山田町漁業集落防災機能強化事業(大沢地区)

浜川目沢田 I 遺跡 (LG84-2393)

【所在地】 下閉伊郡山田町大沢浜川目地内

【事業者】 山田町建設課

【調査期日】 平成 25 年 9 月 10 日 (火)

～12 日 (木)

【調査結果】 浜川目沢田 I 遺跡は、大沢山南麓に位置する縄文時代の散布地である。調査地は、山田町立大沢小学校から東側約 1,300m に位置する平地・微高地である。付近には旧日本軍が第二次世界大戦にともない、南方の石油資源を搬入・備蓄するために建設した、石油備蓄基地のタンク跡地が遺存しており、その建設に



浜川目沢田 I 遺跡 位置図

より地形が大きく変更されている。特に石油タンク跡地には、海への流失を防止するための矩形の擁壁地や、円形をした 10 基以上の土塁状地形が明瞭に確認された。それ以外は、耕地・山林・原野・宅地となっている。

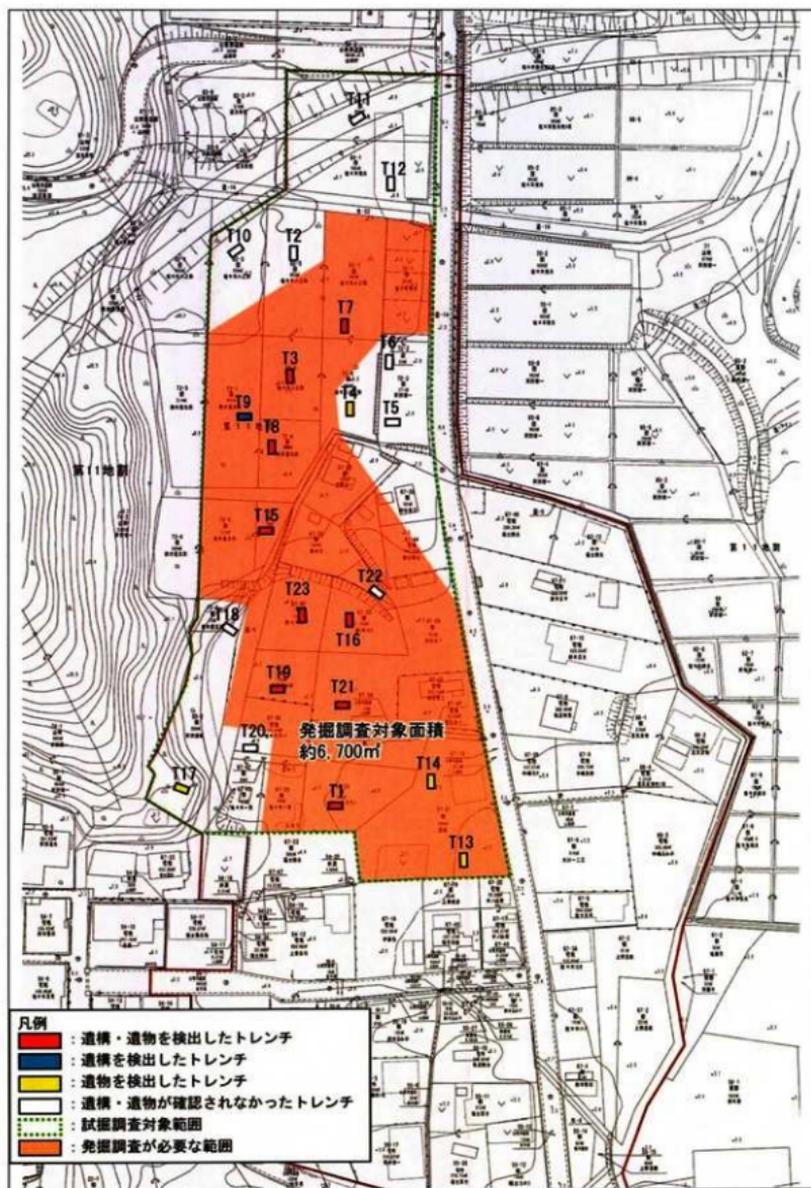
調査は、幅約 1m・長さ約 3m を標準とする 23 箇所の特レンチを調査地に設定して、遺構・遺物の確認に努めた。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土	層厚 10～20 cm
II 層 黄灰色砂質土・淡茶灰色砂質土	層厚 20～50 cm 以上 (ブロック土を含む、日本軍石油備蓄基地の造成土)
III 層 灰褐色土	層厚 25～70 cm (遺物を微量に含む)
IV 層 黒褐色土・暗褐色土	層厚 10～55 cm (上層包含層)
V 層 暗黄褐色土・淡茶褐色土	層厚 20 cm～ (下層包含層)
VI 層 茶褐色土・明茶褐色土	層厚不明 (地山)

調査の結果、調査地の北～北東側の谷や河川跡と、旧日本軍の石油タンク造成にともなって削られた部分(南地区の西端部)を除き、調査地の広い範囲に縄文時代の遺構・遺物が濃密に分布し、大規模な集落跡であることが判明した。遺構は、竪穴住居跡の石囲炉とみられる配石遺構(T3・21)や土坑(T1)、ピット(T7ほか)が、10 箇所の特レンチで検出された。遺物は 13 箇所の特レンチから、縄文時代中期・晩期の土器・石器や、古代の土師器等が出土した。遺物の出土状況からみて、北地区には縄文時代中期、南地区には縄文時代中期・晩期の集落が存在することが判明した。

以上のことから、当該地には大変濃密な遺構・遺物が存在する可能性が高いものと推測される。



浜川目沢田Ⅰ遺跡 トレンチ位置図



調査地全景（北から）



調査地上空写真

(図中の赤○印が調査範囲、図中矢印が旧日本軍の石油備蓄基地跡：Google Map 2014 撮影より引用)



調査風景



T 3 竪穴住居跡検出状況



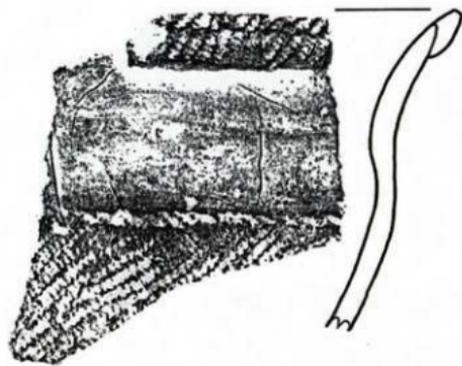
T 9 ビット検出状況



T 19 土坑検出状況



T 21 石囲炉検出状況



出土遺物（工事用杭No.98 付近）

23 陸前高田市土地区画整理事業（高田西地区）

八幡館（高田城：NF67-0172）および隣接地

【所在地】 陸前高田市高田町鳴石地内ほか

【事業者】 陸前高田市都市整備局

【調査期日】 平成 25 年 10 月 15 日（火）

～22 日（火）

【調査結果】 当該調査区は、陸前高田市役所（仮庁舎）の南東約 800m の丘陵に所在する。

現況は、植林地及び灌木が密生する荒蕪地である。今回調査区域は、便宜的に「八幡館（高田城）」として扱う。現地地形から、中世の館跡であることが想定されているため、丘陵頂部・傾斜地の平坦部、沢地形部分を中心に試掘トレンチを設定し調査を実施した。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 5～10cm（森林腐植土、近年の植林のため発達が悪い）

II 層 黄灰色土 層厚 10～100cm（近代以後の攪乱）

III 層 黄灰色土 層厚 30cm（橙色ブロック混入）

IV 層 茶褐色土 層厚 10～40cm

V 層 褐色土 層厚 20～40cm（黒ボクに相当）

VI 層 黄橙色土 層厚不明（地山）

（※ 調査地点による違いが大きいため、別添柱状図を参照のこと）

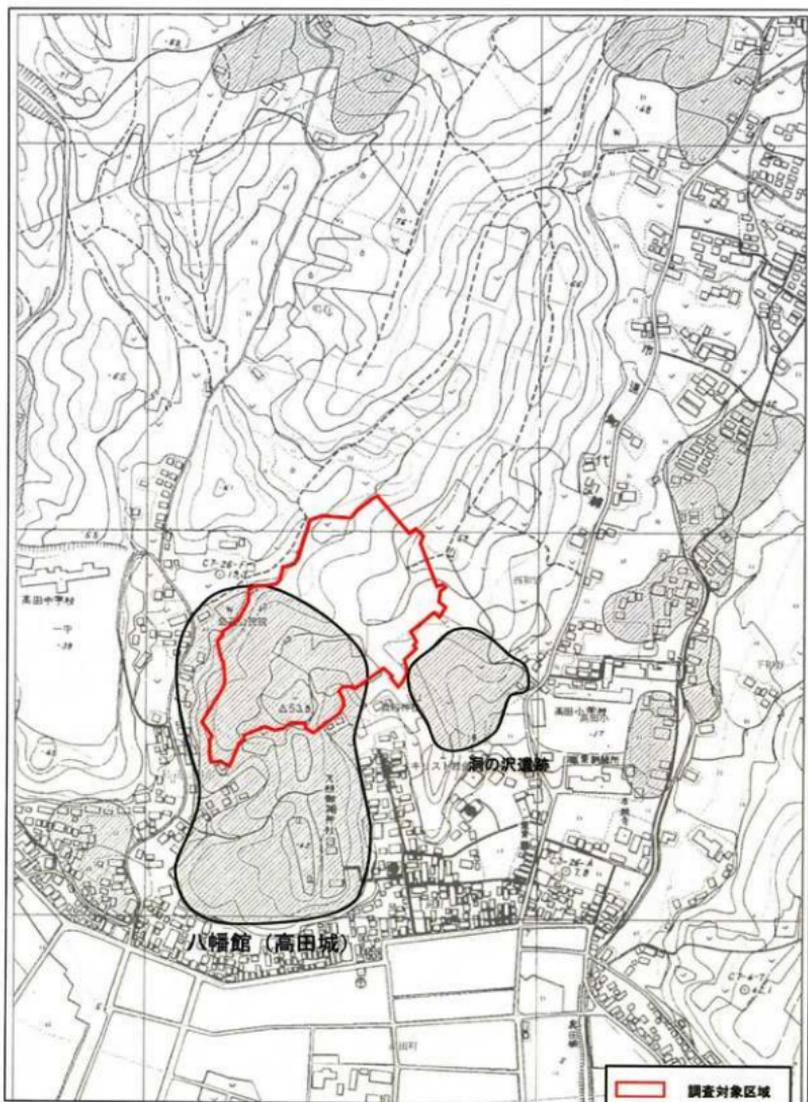
調査の結果、近代以後の攪乱を受けている部分も多く見られたが、T5・21 では堀の可能性のある遺構、T19 では時期不明の柱穴が検出された。掘りあげたところ、埋土は茶灰色の単層で構成されていた。また、T6 で検出された土構についても、館に関連する遺構である可能性がある。

なお、T7・24 では縄文時代後期のもと思われる土器片が出土した。特に T24 は捨て場と考えられ、周囲に当該時期の集落が所在する可能性もある。

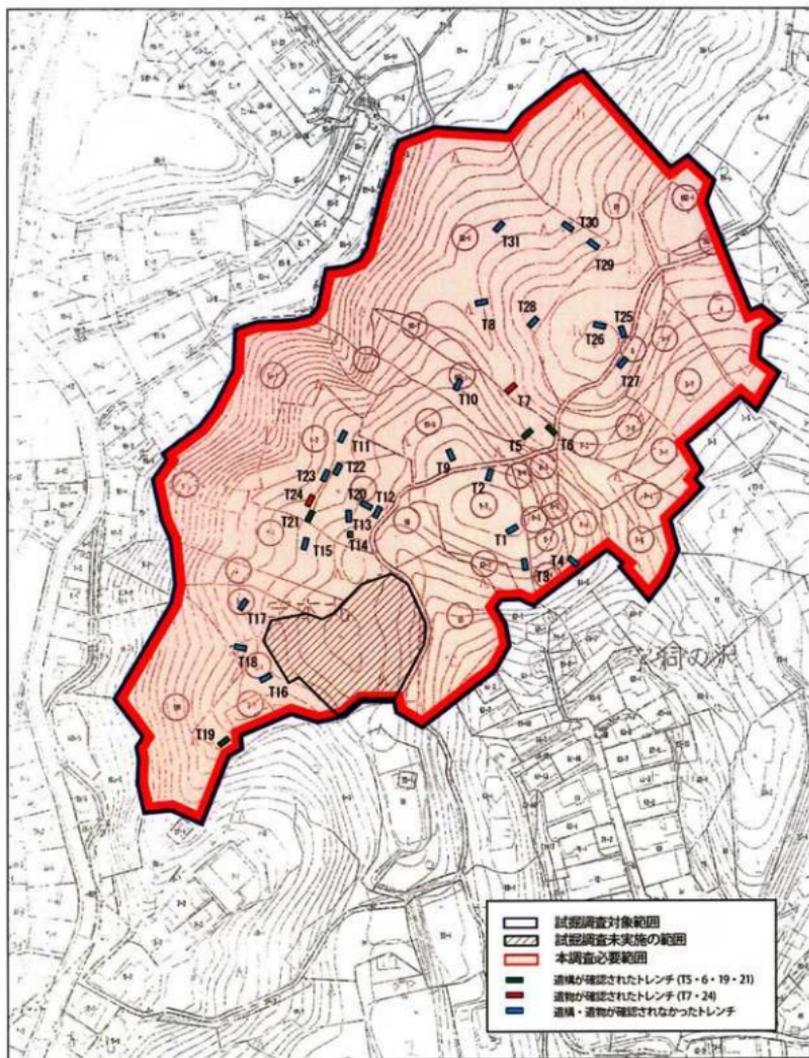
以上のことから、今回未調査であった部分も含め、試掘調査対象区域内については、埋蔵文化財が部分的に残存していると推定される。



八幡館（高田城）および隣接地 位置図



八幡館（高田城）および隣接地 全体図



八幡館（高田城）および隣接地 トレンチ位置図



調査風景 (T18 付近)



近景 (土橋部分)



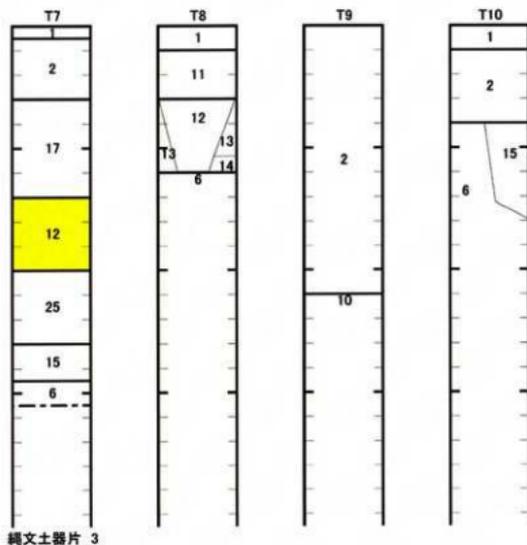
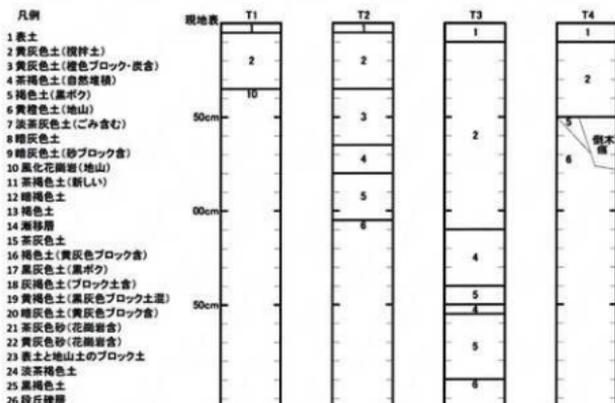
T 5 土層断面



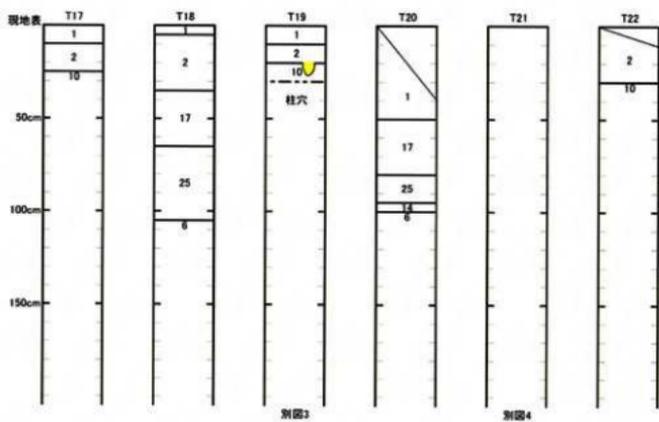
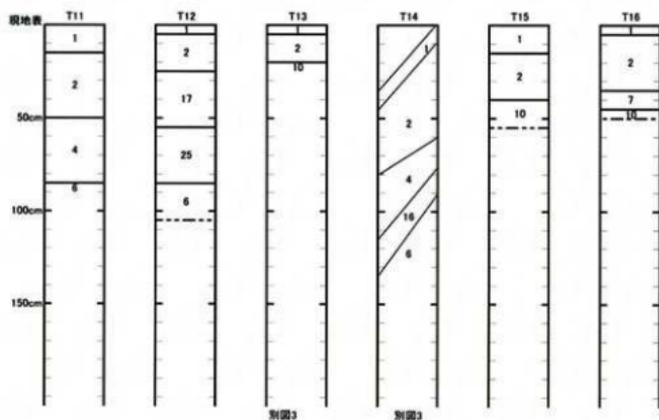
T 3 付近 土層断面 (矢印の範囲は攪乱)



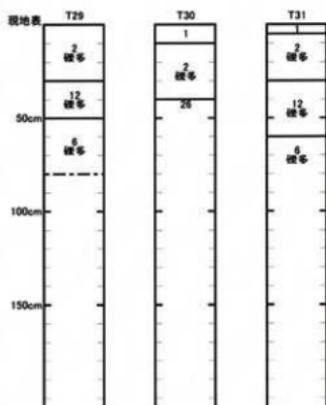
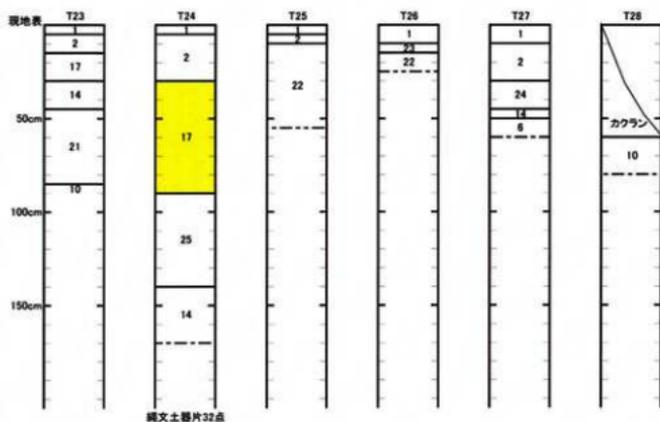
T19 検出された柱穴



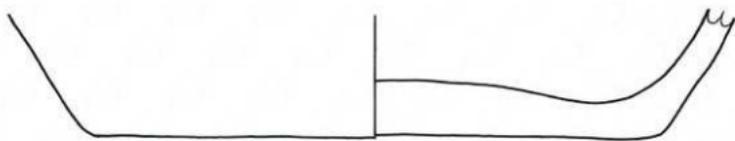
八幡館(高田城)および隣接地 基本層序柱状図①



八幡館（高田城）および隣接地 基本層序柱状図②



八幡館（高田城）および隣接地 基本層序柱状図③



出土遺物 1 (T24)



出土遺物 2 (T24)

24 陸前高田市土地区画整理事業（今泉地区）・

三陸沿岸道路（陸前高田～宮城県唐桑）

鮎下Ⅱ遺跡（NF66-2358：新規遺跡）

【所在地】 陸前高田市気仙町字愛宕下地内

【事業者】 陸前高田市都市整備局

国土交通省東北地方整備局

南三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年7月29日（月）

～30日（火）

【調査結果】当該調査区は、陸前高田市役所（仮庁舎）の南西約2kmに所在し、標高は20～25mで南西向き緩斜面となっており、現況は山林

及び荒蕪地である。今回の調査は、陸前高田市土地区画整理事業（今泉地区）および三陸沿岸道路建設事業に伴うもので、人力および機械掘削による試掘調査を実施した。

基本層序は以下のとおりである。

I層 暗褐色土 層厚30～70cm（表土含む）

II層 黒褐色土 層厚30～50cm（遺物包含層）

III層 暗褐色土 層厚20cm（小礫含む）

IV層 黄褐色土 層厚不明（地山）

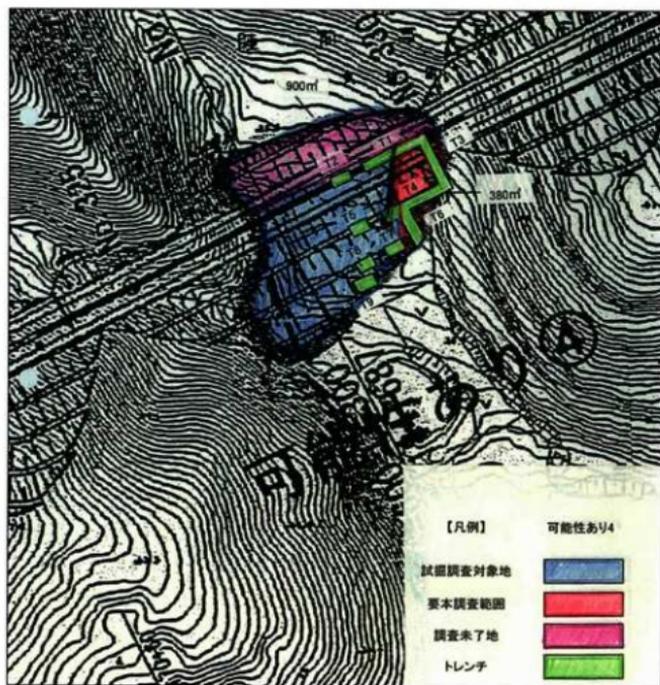
先行した人力による試掘調査では、調査区の斜面上位に設定したトレンチにおいて、須恵器、土師器、縄文土器の破片が第II層より数多く出土したことから、重機による調査では、広範囲に9本のトレンチを設定した。

その結果、T4のII層上面において、埋土に十和田a火山灰を含んだ径約1×0.7m程度の土坑1基を確認した。周辺から土師器片も出土していることから、住居跡の可能性も考えられる。同じトレンチのII層下位からは、縄文土器片も確認されている。また、T4から分岐するT6からは、II層上面より土師器片が出土し、T1では西へ8m、T4では西へ12m、T6では南へ15mの地点で湧水をそれぞれ確認した。包含層は湧水箇所に向かって薄くなっており、掘削と同時に湧水が確認されたT2、5、8、9において包含層は存在せず、表土直下は地山であった。

以上の結果から、本発掘調査が必要な範囲は、II層が残っていた調査区東側の斜面上部が対象になるものと思われる。



愛宕下Ⅱ遺跡 位置図



愛宕下Ⅱ遺跡 トレンチ位置図



調査地全景



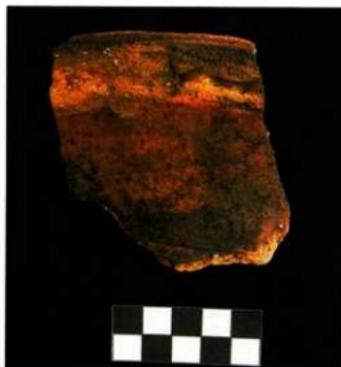
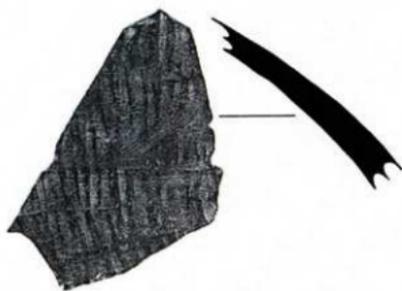
調査風景



T 4 遺物出土状況



T 4 十和田 a 火山灰検出状況



出土遺物 1 (T4)



出土遺物 2 (T5)

平成 25 年度 派遣専門職員の調査風景



左から 半澤武彦（岩手県）・武田寛生氏（静岡県）・横田明氏（大阪府）・平美典氏（鹿児島県）・宇田川浩一氏（秋田県）
宗像公司氏（北海道）・斉藤慶史氏（青森県）・安井健一氏（千葉県）・北原治氏（滋賀県）・相原伸裕（岩手県）

【復興道路 三陸沿岸道路 田老第6トンネル前での記念撮影 2014. 3. 10】

※ 撮影地点は当該による試掘調査結果で（可能性あり-20号工事用道路）工事着手可と判断された箇所



宗像公司氏（北海道教委）

現地説明会【三陸復興 避難 岩泉町支援】



斉藤慶史氏（青森県教委）

分布調査で遺物発見【三陸道 久慈工区】



宇田川浩一氏（秋田県教委）

現地説明会【腰廻館 岩泉町支援】



安井健一氏（千葉県教委）

派遣職員を代表しての発表【三県一市会議 盛岡市】



武田寛生氏（静岡県教委）

雪中人力の試掘調査【三陸道 田老工区】



北原治氏（滋賀県教委）

電子平板による実測支援【割畑沢Ⅰ遺跡 山田町支援】



横田明氏（大阪府教委）

24万㎡の残土置場試掘調査【三陸道 田老工区】



平美典氏（鹿児島県教委）

大量の出土遺物【三陸道 洋野工区】

分布・試掘・本発掘・工事立会
市町村支援等調査一覧

1 分布調査一覧

(1)三陸沿岸道路(三陸国道事務所・南三陸国道事務所管内)

俣浜～陸上工区(工事用道路)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり				俣浜町中野地内	平成25年4月7日	
2		可能性あり1				俣浜町有家第9地割地内	平成26年2月9日	要試験

久慈北道路(工事用道路)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
3		可能性あり1				久慈市荒井町角谷地内	平成25年4月17日	
4		可能性あり2				久慈市荒井町角谷地内	平成26年6月13日	

富古中央～田老工区

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
5	LQ23-2244	山口筋込1遺跡	縄文・古墳	築港跡	敷布地	富古市山口第8地割～山口2丁目地内	平成25年12月26日	要試験
6	LQ23-2231	山口筋込2遺跡		築港跡	敷布地	富古市山口第8地割～山口2丁目地内	平成25年12月28日	要試験
7		可能性あり1				富古市山口第8地割～山口2丁目地内	平成25年12月28日	要試験
8		可能性あり2				富古市山口第8地割～山口2丁目地内	平成25年12月28日	要試験
9		可能性あり1				富古市田老字釜達～田老字荒の沢地内	平成25年12月28日	要試験
10		可能性あり1				富古市田老字乙新野～田老字津部地内	平成25年12月28日・27日	要試験
11		可能性あり2				富古市田老字乙新野～田老字津部地内	平成25年12月28日・27日	要試験
12		可能性あり3				富古市田老字乙新野～田老字津部地内	平成25年12月26日・27日	要試験
13		可能性あり1				富古市田老字乙新野～田老字津部地内	平成25年12月27日	要試験

山田～富古工区

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
14		可能性あり4				山田町石峰～富古市津部石地内	平成25年9月26日	要試験
15		可能性あり4				山田町石峰～富古市津部石地内	平成25年9月26日	要試験

釜石山田道路

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
16	MO23-2225	金巻津遺跡		鉄塚、石口	敷布地	大槌町釜石富古地内	平成25年4月22日	要試験
17		可能性あり1				大槌町小槌地内	平成25年4月22日	要試験
18	MO24-0013	大沢川遺跡	縄文		敷布地	大槌町釜石富古第12地割 ～山田町船越第2地割地内	平成25年4月27日	要試験

吉浜産石道路

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
19		可能性あり1				大槌産石町三郎町富古字上野地内	平成25年5月27日	
20		可能性あり1				釜石市甲子町石口地内	平成25年5月27日	

(2)東北横断自動車道釜石秋田線(岩手河川国道事務所管内)

遠野～富守工区

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
21	MF23-1110	十正遺跡			敷布地	遠野市遠野町下越第37地割地内	平成25年4月15日	要試験

遠野住田～遠野工区

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
22	MF26-2093	平倉遺跡	縄文		敷布地	遠野市上郷町平倉第24-33地割地内	平成25年12月20日	要試験

(3)宮古横断横断道路(三陸国道事務所・岩手河川国道事務所管内)

富古西道路(松山～藤原工区)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
23		可能性あり1				富古市藤原～小山田(工事用道路①)	平成25年4月19日	
24	LQ24-1048	福崎石碓遺跡	縄文・古代		敷布地	富古市藤原～小山田(工事用道路②)	平成24年4月15日	仮工事
25		可能性あり2				富古市藤原～小山田(工事用道路②)	平成24年4月19日	

富古箱石道路(富古～箱石工区)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
26		可能性あり1				富古市箱石地内	平成28年4月10日	要調査
27		可能性あり2				富古市箱石地内	平成28年4月10日	要調査
28		可能性あり3				富古市川舟地内	平成28年4月10日	要調査
29		可能性あり4				富古市川舟地内(インナー予定地)	平成28年4月10日	要調査
30		可能性あり5				富古市川舟地内(C工事用道路)	平成28年4月10日	要調査
31		可能性あり6				富古市飯沼地内(橋脚予定地)	平成28年4月10日	要調査
32		可能性あり7				富古市飯沼地内	平成28年4月10日	要調査
33		可能性あり8				富古市飯沼地内	平成28年4月10日	要調査
34		可能性あり9				富古市飯沼地内	平成28年4月10日	要調査
35		可能性あり10				富古市飯沼地内(インナー予定地)	平成28年4月10日	要調査

富古箱石道路(工事用道路)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
36	LQ40-1067	阪寄配石運搬路及び 取捨路	縄文		高埋地・散布地	富古市飯沼第2地割地内	平成28年7月28日・12月8日	要調査

区界道路(区界～熊川工区)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
37		可能性あり1				富古市区界古石地内	平成28年10月18日	要調査

(4)一般国道(三陸国道事務所管内)

一般国道45号(改良)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
38		可能性あり1				陸前高田町高田沼町～米崎町地内(高田地区①)	平成28年7月12日・31日	要調査
39						陸前高田町高田沼町～米崎町地内(高田地区②)	平成28年7月12日・31日	
40						陸前高田町高田沼町～米崎町地内(高田地区③)	平成28年7月12日・31日	
41		可能性あり2				陸前高田町高田沼町～米崎町地内(高田地区④)	平成28年7月12日・31日	要調査
42						釜石市大字平田～松原町地内(平田・箱石地区①)	平成28年7月12日・31日	
43	MO72-2352	平田道路	縄文・弥生	縄文土器(中・後期)、弥生土器、石鏡、石鏝、石磨	散布地	釜石市大字平田第4地割地内	平成28年7月12日・31日	工事立ち
44						釜石市大字平田～松原町地内(平田・箱石地区②)	平成28年7月12日・31日	
45						釜石市向石町市内(向石地区①)	平成28年7月12日・31日	
46						釜石地区向石町地内(向石地区②)	平成28年7月12日・31日	
47						釜石市向石町地内(向石地区③)	平成28年7月12日・31日	
48						釜石市飯沼沼町～片岸町地内(飯沼地区①)	平成28年7月12日・31日	
49	MO41-2238	上道道路	縄文	縄文土器(中期)	散布地	釜石市飯沼沼町第15地割地内	平成28年7月12日・31日	調査工事
50	MO41-1305	片岸具塚	縄文	縄文土器(中・後期)、石部器(灰石斧・剃片)	具塚	釜石市片岸町飯沼地割地内	平成28年7月12日・31日	調査工事
51	MO33-0397	吉里吉里Ⅱ道路	平賀	鉄滓、縄文土器(縄文)	散布地	大槌町吉里吉里一丁目、二丁目地内	平成28年7月12日・31日	調査工事
52	MO33-0346	新館	中世	平埴、平部	城跡群	大槌町吉里吉里第三丁目地内	平成28年7月12日・31日	要調査
53	MO23-2358	アサガワ農道合流路	近世	平埴、石鏡	史跡	大槌町吉里吉里第14地割地内	平成28年7月12日・31日	調査工事
54						山田町飯沼～山田地内(山田地区①)	平成28年7月12日・31日	
55						山田町飯沼～山田地内(山田地区②)	平成28年7月12日・31日	
56						山田町飯沼～山田地内(山田地区③)	平成28年7月12日・31日	
57						富古市田巻町地内(田巻地区①)	平成28年7月12日・31日	
58						富古市田巻町地内(田巻地区②)	平成28年7月12日・31日	

一般国道45号(大沢歩道・角浜歩道整備)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
59	LQ44-21546	新館地Ⅱ	縄文	縄文土器	散布地	山田町大沢第3地割地内	平成28年10月30日	要調査
60	FP38-2001	角川ⅡⅡ	縄文	縄文土器	散布地	岸野町角の浜地内	平成28年10月31日	要調査
61		可能性あり1				岸野町角の浜地内	平成28年10月31日	要調査

2 試掘調査一覽

(1) 三陸沿岸道路

(三陸國道事務所管内:青森県陸上IC～山田IC・南三陸國道事務所管内:山田南IC～宮城県唐桑IC) ※下線部は本書掲載道路

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地
1	平成25年1月29日～2月1日	三陸沿岸道路(田野畑南～尾野賀)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	真木沢直通線、洞谷泉Ⅱ直通線、洞谷泉Ⅲ直通線	田野畑村
2	平成25年2月8日、4月9日	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	根井穴穴田Ⅰ直通線	宮古市
3	平成25年3月4日～7日	三陸沿岸道路(田野畑南～尾野賀・尾野賀～菅代)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	大戸Ⅰ直通線・菅直通線	田野畑村
4	平成25年3月4日～7日	三陸沿岸道路(田野畑南～尾野賀・尾野賀～菅代)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり7、8	田野畑村
5	平成25年4月9日～18日、5月22日	三陸沿岸道路(久慈北道路)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	宮崎峠あり①(外屋敷Ⅹ区)、②③④、木戸直通線、外野新直通線、北郷ⅩⅢ直通線(宮崎峠あり②)、宇津井Ⅰ直通線	久慈市
6	平成25年4月10日	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	沼里野直通線	宮古市
7	平成25年4月10日	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	関木戸直通線	山田町
8	平成25年4月15日～17日	三陸沿岸道路(宮古～田老)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	乙部直通線、小堀内直通線	宮古市
9	平成25年4月19日～17日	三陸沿岸道路(尾野賀～菅代)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり9-10、4十中沢直通線(KG11-0297)	田野畑村
10	平成25年4月22日～28日	三陸沿岸道路(菅代～久慈)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり1、2(長途直通線)	菅代村
11	平成25年4月22日～28日	三陸沿岸道路(陸上IC～待浜IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり28、81、島根野直通線、免畑ⅩⅡ直通線(附接地)	久慈市・洋野町
12	平成25年5月7日～10日、13日～17日、20日	三陸沿岸道路(陸上IC～待浜IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり1、2(内/編Ⅲ直通線)、10、22、45、47、伝吉Ⅲ直通線	洋野町
13	平成25年5月8日～9日	三陸沿岸道路(田老～岩倉)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	向新田直通線	宮古市
14	平成25年5月20日～23日	三陸沿岸道路(菅代IC～久慈IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	宇都直通線、可能性あり28、30～32、上長内直通線	久慈市
15	平成25年5月21日	三陸沿岸道路(紫石山田道路)	国土交通省東北地方整備局南三陸國道事務所長	可能性あり1	大槌町
16	平成25年5月21日	三陸沿岸道路(紫石山田道路)	国土交通省東北地方整備局南三陸國道事務所長	会堂津直通線及び隣接地	大槌町
17	平成25年5月22日～23日	三陸沿岸道路(紫石山田道路)	国土交通省東北地方整備局南三陸國道事務所長	大沢川直通線	山田町
18	平成25年5月24日	三陸沿岸道路(紫石山田道路)	国土交通省東北地方整備局南三陸國道事務所長	岡平直通線	山田町
19	平成25年5月28日～29日	三陸沿岸道路(菅代～久慈)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	伏津直通線	野田村
20	平成25年6月4日～7日、6月19日～12日、6月18日～19日	三陸沿岸道路(陸上IC～待浜IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	上のマカ合渡線、桑畑ⅩⅡ直通線、可能性あり23-40-41、工事用直通線70-80-81	洋野町、久慈市
21	平成25年6月19日	三陸沿岸道路(久慈北道路)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	工事用直通線①	久慈市
22	平成25年6月18日～7月4日	三陸沿岸道路(宮古～田老)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり1(工事用直通線)、可能性あり①～④(紫/東北Ⅰ-Ⅲ-Ⅳ)、物見峠Ⅰ直通線(附接地)	宮古市
23	平成25年6月27日	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	沼里直通線	宮古市
24	平成25年7月9日	三陸沿岸道路(田野畑南～尾野賀)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	菅直通線	田野畑村
25	平成25年7月22日～24日	三陸沿岸道路(宮古～田老)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	一の旗Ⅰ直通線	宮古市
26	平成25年7月24日	三陸沿岸道路(陸上IC～陸前高田)	国土交通省東北地方整備局南三陸國道事務所長	可能性あり①	陸前高田市
27	平成25年7月30日	三陸沿岸道路(菅代IC～紫石IC)	国土交通省東北地方整備局南三陸國道事務所長	可能性あり4	紫石市
28	平成25年8月20日～21日	三陸沿岸道路(宮古～田老)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	近内寺本Ⅰ直通線及び隣接地、近内寺本Ⅱ直通線及び隣接地	宮古市
29	平成25年8月28日	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	弘川Ⅱ直通線	宮古市
30	平成25年8月28日～27日	三陸沿岸道路(陸上IC～待浜IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり24-48	洋野町
31	平成25年8月24日～28日	三陸沿岸道路(宮古～田老)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり1、高根直通線	宮古市
32	平成25年10月23日～24日	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	可能性あり9-8	山田町・宮古市
33	平成25年11月6日～7日	三陸沿岸道路(宮古～田老)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	山口崎Ⅱ直通線	宮古市
34	平成25年11月19日	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸國道事務所長	奥の特	宮古市

No.	調査期日	事業名	事業者	道筋名	所在地
35	平成25年11月20日	三陸沿岸道路(山田IC~宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	津軽石大森	宮古市
36	平成25年11月20日	三陸沿岸道路(山田IC~宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	青竹日向	宮古市
37	平成25年12月9日~11日	三陸沿岸道路(宮古~田巻)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	山口駒込1通路、可能性あり2	宮古市
38	平成26年2月12日~14日	三陸沿岸道路(山田IC~宮古南IC)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	沼見通路隣接地	宮古市
39	平成26年2月24日	三陸沿岸道路(宮古~田巻)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	牛久通路	宮古市
40	平成26年2月24日~25日	三陸沿岸道路(田野領南~尾野領)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	沢野原V道路・鳥越区通路及U隣接地	田野領村
41	平成26年3月11日~12日	三陸沿岸道路(原上IC~特養IC)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	可能性あり1	洋野町
42	平成26年3月11日~12日	三陸沿岸道路(宮古~田巻)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	可能性あり1(黒坂通路)	宮古市

(2)東北横断自動車道 釜石秋田線

(岩手河川国道事務所管内:宮守IC~遠野住田IC)

No.	調査期日	事業名	事業者	道筋名	所在地
43	平成25年3月14日、4月16日~4月18日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	新道開木野通路	遠野市
44	平成25年4月24日~5月22日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり13/田原野田通路、4、36、37、新道新海通路、新道堂宮高通路	遠野市
45	平成25年5月14日~21日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	平野原I通路、可能性あり11、12、32	遠野市
46	平成25年6月5日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~宮守IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり9、7	遠野市
47	平成25年6月5日~7日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり23~25	遠野市
48	平成25年6月12日~13日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	平野原II通路	遠野市
49	平成25年6月20日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり28	遠野市
50	平成25年7月11日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり29(新河車通路)	遠野市
51	平成25年7月30日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり27	遠野市
52	平成25年8月6日~7日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり10	遠野市
53	平成25年8月22日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり18	遠野市
54	平成25年8月29日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり22	遠野市
55	平成25年8月29日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり22	遠野市
56	平成25年9月11日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり19	遠野市
57	平成25年9月11日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり20	遠野市
58	平成25年9月20日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり24	遠野市
59	平成25年10月3日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり23	遠野市
60	平成25年10月23日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり25	遠野市
61	平成25年11月6日~7日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり38	遠野市
62	平成25年11月12日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~宮守IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	十五堂通路	遠野市
63	平成25年11月26日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	＃田通路	遠野市
64	平成25年11月26日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり26	遠野市
65	平成25年12月6日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり21(＃田II通路)	遠野市
66	平成26年2月4日	東北横断自動車道釜石秋田線(遠野IC~遠野住田IC)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	平倉通路	遠野市

(3)宮古盛岡横断道路

(三陸国道事務所管内:藤原~箱石・岩手河川国道事務所管内:平津戸~都南川目)

No.	調査期日	事業名	事業者	道筋名	所在地
67	平成25年4月19日、4月22日~24日	宮古盛岡横断道路(宮古西道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	可能性あり9、10	宮古市

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地
68	平成25年4月24日	宮古盛岡横断道路(宮古西道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	小山田1号線	宮古市
69	平成25年8月13日～15日	宮古盛岡横断道路(宮古西道路)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	楳崎石崎道路	宮古市
70	平成25年8月24日	都南川日道線改修工事	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	新道1号線	盛岡市
71	平成25年8月24日～27日	宮古盛岡横断道路(橋本～駒石)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	可能性あり0、7、8、9	宮古市
72	平成25年8月9日	宮古盛岡横断道路(宮古～駒石)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	可能性あり1'-2'-4-5	宮古市
73	平成25年8月24日～9月20日	宮古盛岡横断道路(平津戸～岩井～松草)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり1'-6	宮古市
74	平成25年10月28日～30日	宮古盛岡横断道路(宮古西道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	可能性あり10	宮古市
75	平成25年10月28日～31日	宮古盛岡横断道路(区界～原川)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり40の一部、5	宮古市
76	平成25年11月11日～13日	宮古盛岡横断道路(平津戸～岩井～松草)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり9	宮古市
77	平成25年11月26日～27日	宮古盛岡横断道路(橋本～駒石)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	可能性あり3、6、10	宮古市
78	平成26年1月27日～31日	宮古盛岡横断道路(区界～原川)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長	可能性あり1'-2、40の一部、6-12、可能性あり8(中津浦橋)	宮古市・盛岡市

(4)一般国道45号改良

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地
79	平成25年9月12日	一般国道45号復興 宮里宮里地区	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	新道	大畑町
80	平成26年1月30日	一般国道45号 大沢歩道	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	新道E2号線踏切地	山田町

3 市町村支援関係

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地
1	平成25年4月9日～19日	赤松地区防災集団移転促進事業	宮古市都市整備部都市計画課	赤松E2号線	宮古市
2	平成25年4月19日～26日	赤松地区防災集団移転促進事業	宮古市都市整備部都市計画課	赤松V1号線V2号線	宮古市
3	平成25年8月28日	被災者個人住宅建設	田野畑村教育委員会教育長	和野1号線	田野畑村
4	平成26年7月29日～30日	陸前高田市土地区画整理事業	陸前高田市教育委員会教育長	可能性あり4(受管下E2号線)	陸前高田市
5	平成25年9月4日～25日	大沢地区防災集団移転促進事業 大沢地区温泉集落防災圏強化事業	山田町教育委員会教育長	大沢道路、下倉道路、 源山温泉上	山田町
6	平成25年10月15日～22日	陸前高田市土地区画整理事業	陸前高田市教育委員会教育長	八幡敷(高田線)	陸前高田市
7	平成25年11月12日～13日	大沢地区個人住宅移転	山田町教育委員会教育長	大沢線	山田町
8	平成26年12月12日	村道拡幅改良工事	田野畑村教育委員会教育長	和野E2号線	田野畑村
9	平成26年12月12日	浜岩温泉促進・駐車場建設工事(高道道路建設移転事業)	田野畑村教育委員会教育長	浜岩温泉V2号線	田野畑村
10	平成26年12月12日	個人住宅建設事業(高道道路建設移転事業)	田野畑村教育委員会教育長	賢達線	田野畑村
11	平成26年12月12日	個人住宅建設事業	田野畑村教育委員会教育長	年邑部E2号線	田野畑村
12	平成26年1月24日	個人住宅建設事業	田野畑村教育委員会教育長	和野1号線	田野畑村

4 本県調査一覧

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地・区画内容
1	平成25年5月16日～22日	宮古盛岡横断道路(宮古西道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	木戸井内V2号線	宮古市・60号宮代尾路線、土都部
2	平成26年2月17日～2月21日	巨輪沿岸道路(山田宮古道)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長	関水戸E2号線	山田町・1,600号一里塚・新道線

5 工事立会一覧

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地
1	平成25年6月24日	個人住宅建設	田野畑村教育委員会教育長	切牛E2号線	田野畑村

岩手県文化財調査報告書 第143集

岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成25年度 復興関係）

印刷 平成27年3月25日

発行 平成27年3月27日

発行 岩手県教育委員会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

電話 019-629-6171

編集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課

印刷 有限会社 ツーワンライフ

〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢10-513-19

電話 (019) 681-8121

©岩手県教育委員会 2015

